

第3章 在宅介護実態調査

第3章 在宅介護実態調査

この調査の集計にあたり、調査対象者が介護している家族等（以下、「被介護者」という。）の年齢階級・性別・要介護度等の属性は、この調査と合わせて実施した「①要介護認定者調査」の回答を使用している。

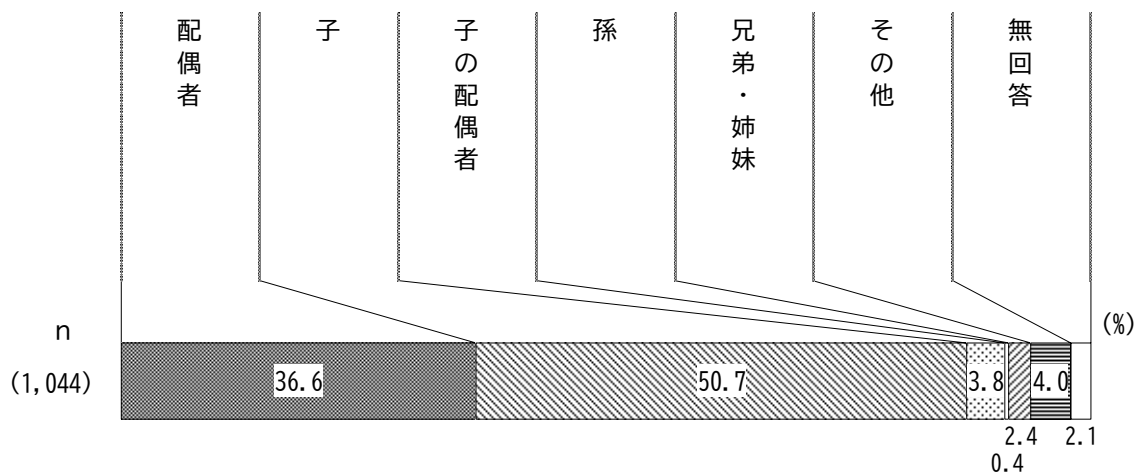
1. 主な介護者の状況について

(1) 主な介護者と被介護者（要介護認定者本人）との関係

問1 封筒のあて名の方を主に介護している方（主な介護者）は、どなたですか。（○は1つ）

被介護者（要介護認定者本人）との関係は、「子」が50.7%で最も高く、次いで「配偶者」が36.6%、「子の配偶者」が3.8%となっている。

図表3-1-1 被介護者（要介護認定者本人）との関係

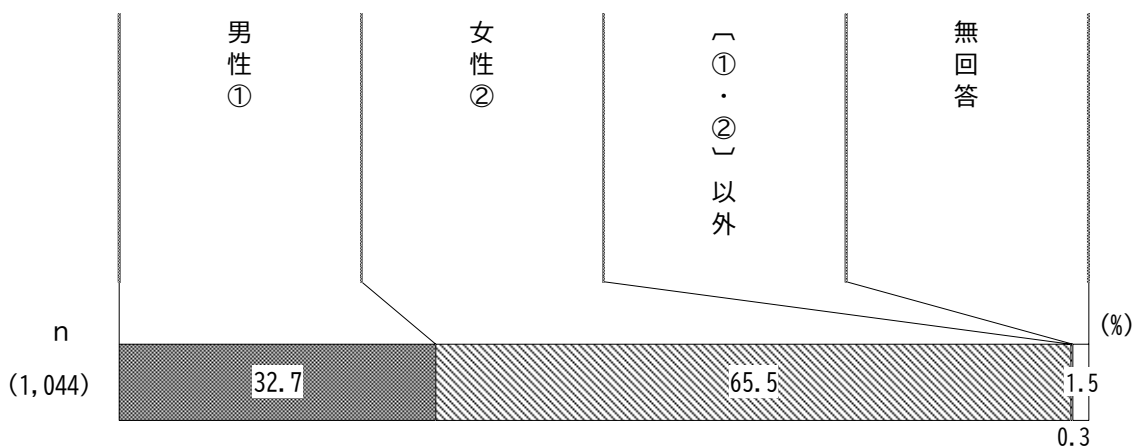


(2) 主な介護者の性別

問2 主な介護者の方の性別を教えてください。（○は1つ）

主な介護者の性別は、「女性」が65.5%、「男性」が32.7%となっている。

図表3-1-2 主な介護者の性別

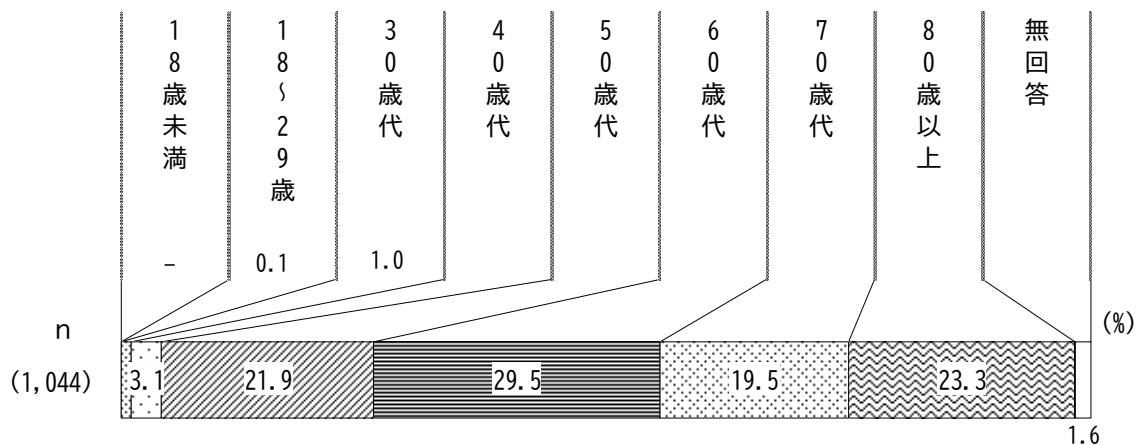


(3) 主な介護者の年齢

問3 主な介護者の方の年齢を教えてください。(○は1つ)

主な介護者の年齢は、「60歳代」が29.5%で最も高く、次いで「80歳以上」が23.3%、「50歳代」が21.9%となっている。

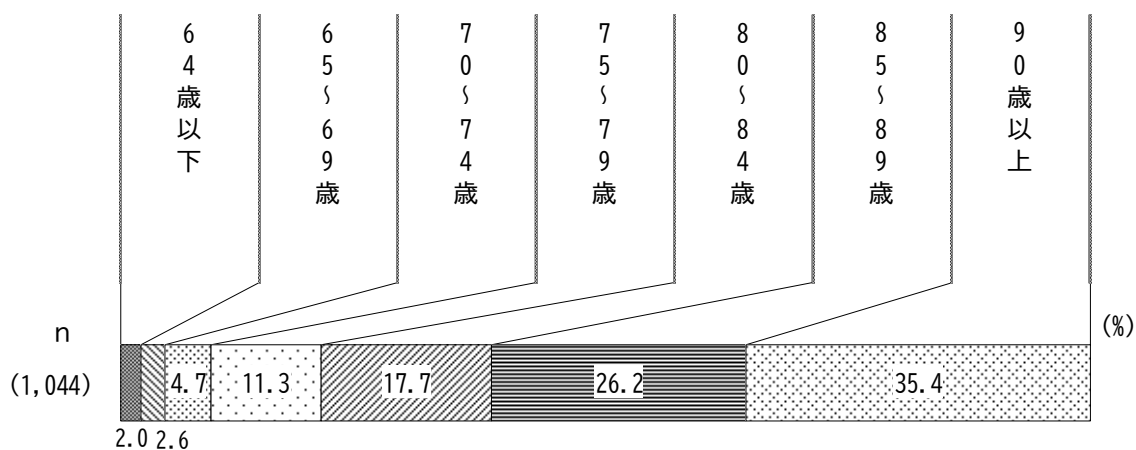
図表3-1-3 主な介護者の年齢



(4) 被介護者（要介護認定者本人）の年齢

被介護者の年齢は、「90歳以上」が35.4%で最も高く、次いで「85～89歳」が26.2%、「80～84歳」が17.7%となっている。

図表3-1-4 被介護者（認定者本人）の年齢



被介護者の年齢を介護者の年齢別で見ると、被介護者の年齢が「90歳以上」では主な介護者の年齢は「60歳代」が61.4%で最も高くなっており、被介護者の年齢「85～89歳」では主な介護者の年齢は「50歳代」が45.0%、「80歳以上」が35.0%となっている。

図表3-1-5 被介護者の年齢（主な介護者の年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

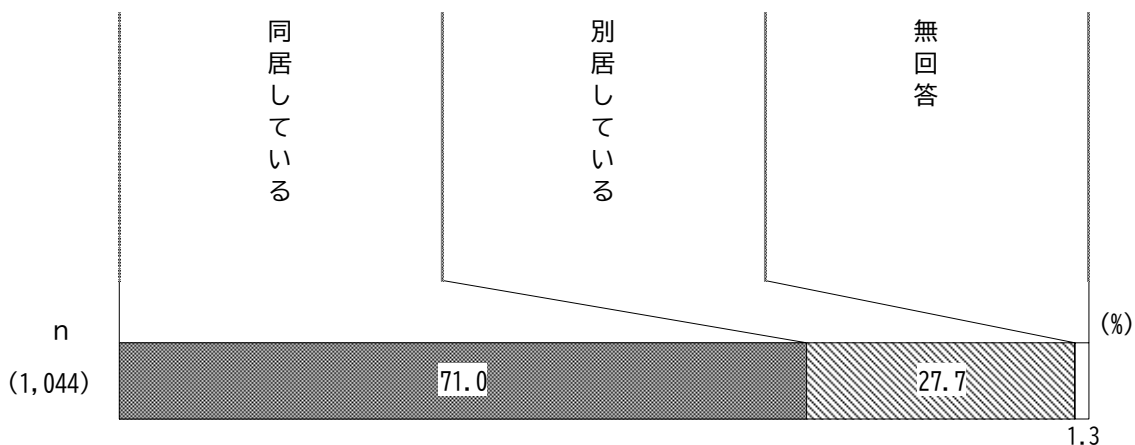
項目	調査数 (n)	6	6	7	7	8	8	9	
		4	5	0	5	0	5	0	
		歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	
		以下	～	～	～	～	～	以上	
全体	1,044	21	27	49	118	185	274	370	
	100.0	2.0	2.6	4.7	11.3	17.7	26.2	35.4	
主な 介護者 の 年齢	18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	
	18～29歳	1	-	-	-	-	-	1	
		100.0	-	-	-	-	-	100.0	
	30歳代	10	-	2	2	3	1	2	
		100.0	-	20.0	20.0	30.0	10.0	20.0	
	40歳代	32	1	1	4	13	10	2	1
		100.0	3.1	3.1	12.5	40.6	31.3	6.3	3.1
	50歳代	229	6	5	2	10	51	103	52
	100.0	2.6	2.2	0.9	4.4	22.3	45.0	22.7	
60歳代	308	10	12	10	8	9	70	189	
	100.0	3.2	3.9	3.2	2.6	2.9	22.7	61.4	
70歳代	204	-	7	29	60	41	11	56	
	100.0	-	3.4	14.2	29.4	20.1	5.4	27.5	
80歳以上	243	4	-	2	19	70	85	63	
	100.0	1.6	-	0.8	7.8	28.8	35.0	25.9	
無回答	17	-	-	-	5	3	3	6	
	100.0	-	-	-	29.4	17.6	17.6	35.3	

(5) 被介護者との同居の有無

問4 主な介護者の方は、封筒のあて名の方と同居されていますか。(○は1つ)

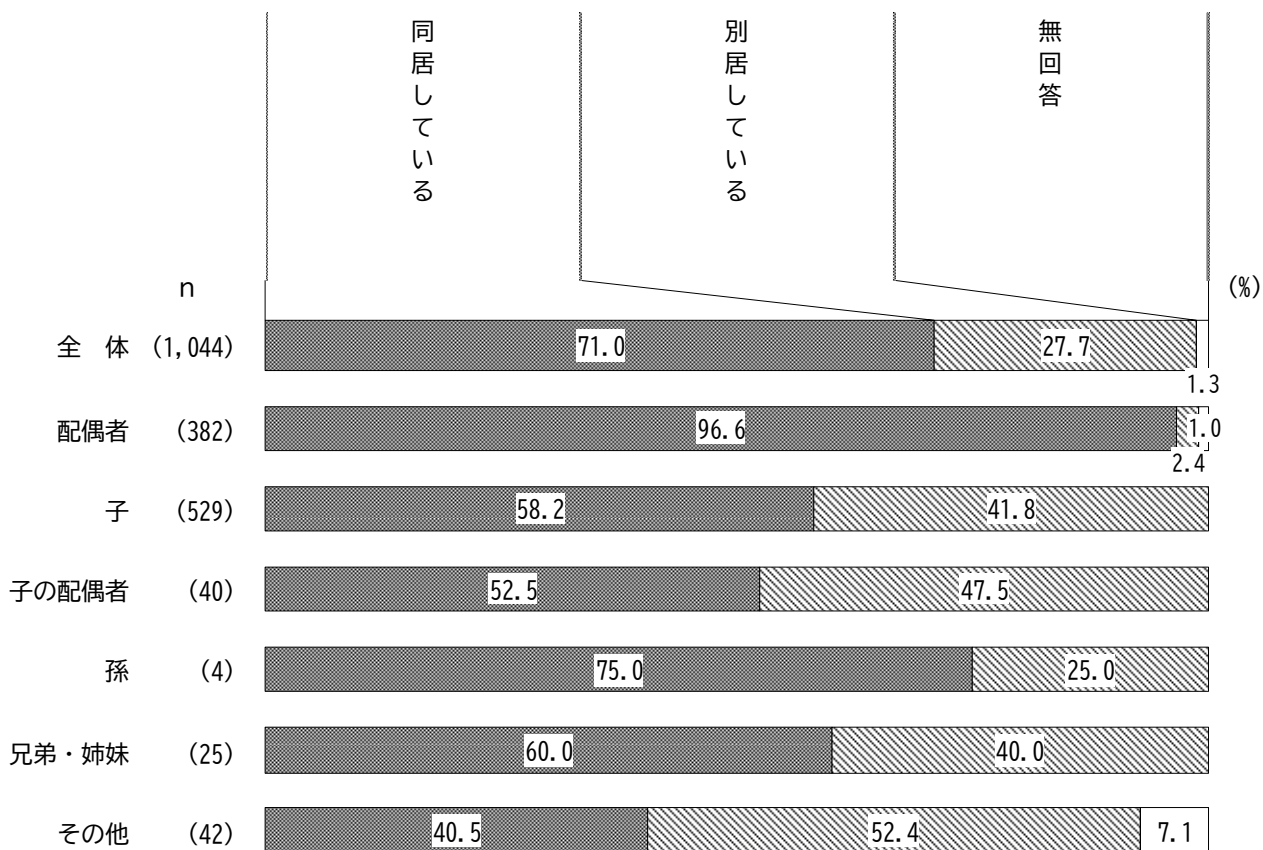
被介護者との同居の有無は、「同居している」が71.0%、「別居している」が27.7%となっている。

図表3-1-6 被介護者との同居の有無



被介護者との同居の有無を主な介護者別にみると、「同居している」は「配偶者」で96.6%と最も高くなっている。

図表3-1-7 被介護者との同居の有無（主な介護者別）



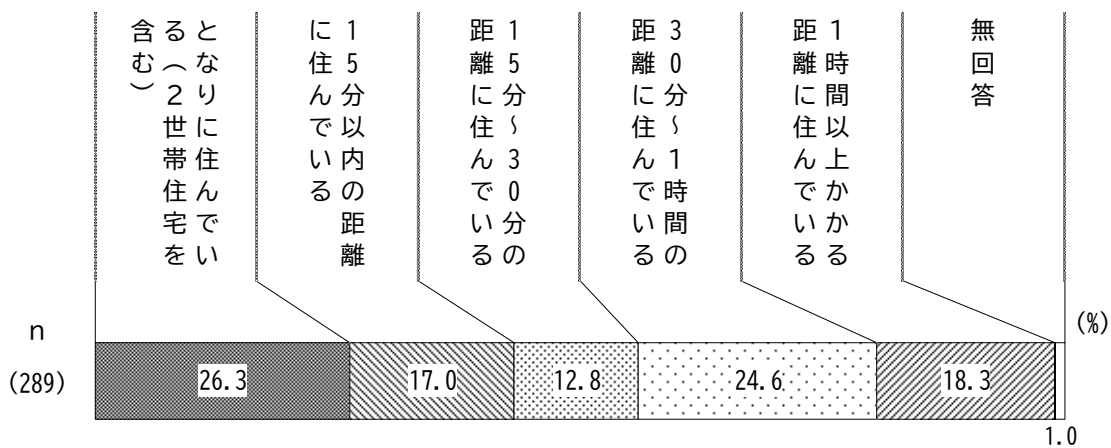
(6) 主な介護者と被介護者との距離

【問4で「2. 別居している」と回答した方におたずねします。】

問4-1 主な介護者の方はどちらにお住まいですか。(○は1つ)

別居している場合の主な介護者と被介護者との距離は、「となりに住んでいる（2世帯住宅を含む）」が26.3%で最も高く、次いで「30分～1時間の距離に住んでいる」が24.6%、「1時間以上かかる距離に住んでいる」が18.3%となっている。

図表3-1-8 被介護者との距離

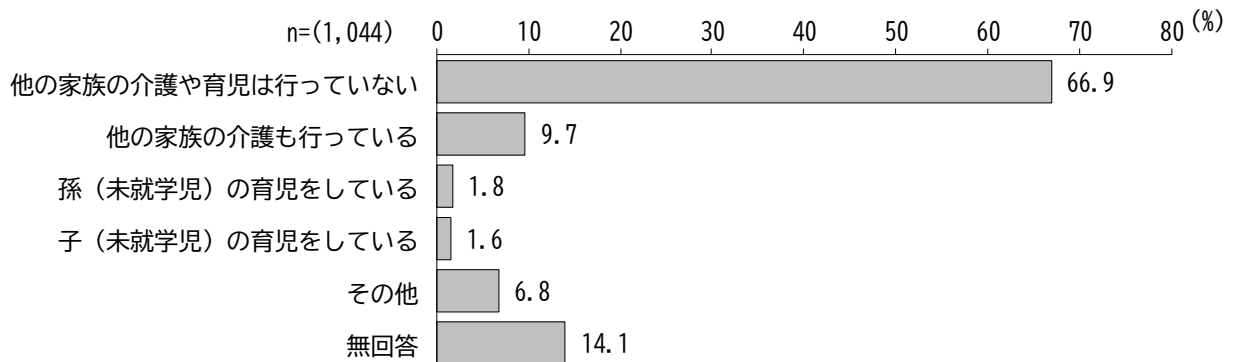


(7) 育児や他の家族の介護の状況

問5 主な介護者の方は、封筒のあて名の方の介護以外に、育児や他のご家族の介護も行っていますか。(○はいくつでも)

育児や他の家族の介護の状況は、「他の家族の介護や育児は行っていない」が66.9%で最も高く、次いで「他の家族の介護も行っている」が9.7%、「孫（未就学児）の育児をしている」が1.8%となっている。

図表3-1-9 育児や他の家族の介護の状況（複数回答）



第3章 在宅介護実態調査

育児や他の家族の介護の状況を主な介護者の性別でみると、「他の家族の介護も行っている」は男性5.9%、女性11.3%で女性が上回っている。

年齢別でみると、「他の家族の介護も行っている」は女性50歳代で18.6%、女性60歳代で13.4%となっている。

図表3-1-10 育児や他の家族の介護の状況（主な介護者の性別・年齢別）

項目	調査数 (n)	(上段:回答数, 下段:%)					
		行 他 の 家 族 の 介 護 や 育 児 は 行 っ て い な い	る 他 の 家 族 の 介 護 も 行 っ て い る	て 孫 （ 未 就 学 児 ） の 育 児 を し て い る	て 子 （ 未 就 学 児 ） の 育 児 を し て い る	そ の 他	無 回 答
全体	1,044	698 66.9	101 9.7	19 1.8	17 1.6	71 6.8	147 14.1
男性全体	338	239 70.7	20 5.9	2 0.6	3 0.9	20 5.9	55 16.3
男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-
男性 30歳代	6 100.0	4 66.7	2 33.3	-	-	-	-
男性 40歳代	5 100.0	3 60.0	-	-	1 20.0	1 20.0	-
男性 50歳代	66 100.0	53 80.3	4 6.1	-	1 1.5	2 3.0	6 9.1
男性 60歳代	88 100.0	65 73.9	8 9.1	2 2.3	1 1.1	4 4.5	8 9.1
男性 70歳代	76 100.0	55 72.4	2 2.6	-	-	7 9.2	12 15.8
男性 80歳以上	97 100.0	59 60.8	4 4.1	-	-	6 6.2	29 29.9
女性全体	681	452 66.4	77 11.3	17 2.5	12 1.8	49 7.2	81 11.9
女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
女性 18~29歳	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
女性 30歳代	4 100.0	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-
女性 40歳代	26 100.0	13 50.0	2 7.7	-	7 26.9	3 11.5	1 3.8
女性 50歳代	161 100.0	104 64.6	30 18.6	1 0.6	-	13 8.1	15 9.3
女性 60歳代	217 100.0	160 73.7	29 13.4	12 5.5	-	11 5.1	9 4.1
女性 70歳代	127 100.0	83 65.4	12 9.4	3 2.4	2 1.6	9 7.1	19 15.0
女性 80歳以上	145 100.0	91 62.8	2 1.4	1 0.7	2 1.4	12 8.3	37 25.5
無回答	25 100.0	7 28.0	4 16.0	-	2 8.0	2 8.0	11 44.0

育児や他の家族の介護の状況を主な介護者の勤務形態で見ると、「他の家族の介護や育児は行っていない」はすべての勤務形態で6割以上となっている。

図表3-1-11 育児や他の家族の介護の状況（勤務形態別）

（上段：回答数、下段：％）

項目	調査数 (n)	児他	行他	児孫	児子	そ	無	
		はの 行の つた てい る 介 護 や 育	の 家 族 の 介 護 も	を し て い る の 育	を し て い る の 育	の 他	回 答	
全体	1,044 100.0	698 66.9	101 9.7	19 1.8	17 1.6	71 6.8	147 14.1	
勤務 形態	フルタイムで働いている	255 100.0	177 69.4	31 12.2	7 2.7	6 2.4	16 7.8	20 7.8
	パートタイムで働いている	202 100.0	139 68.8	25 12.4	5 2.5	4 2.0	13 6.4	19 9.4
	働いていない	512 100.0	355 69.3	38 7.4	5 1.0	3 0.6	34 6.6	81 15.8
	無回答	75 100.0	27 36.0	7 9.3	2 2.7	4 5.3	8 10.7	27 36.0

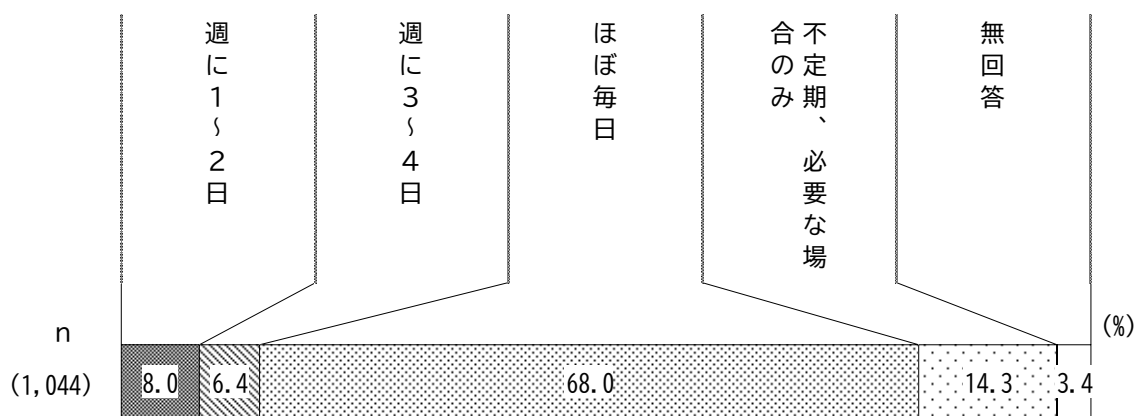
2. 家族介護の状況について

(1) 家族介護の状況（介護頻度）

問6 封筒のあて名の方に対するご家族や親族の方の介護は、週にどのくらいありますか。
 (○は1つ) ※複数のご家族が介護されている場合は、合計の日数でお答えください。

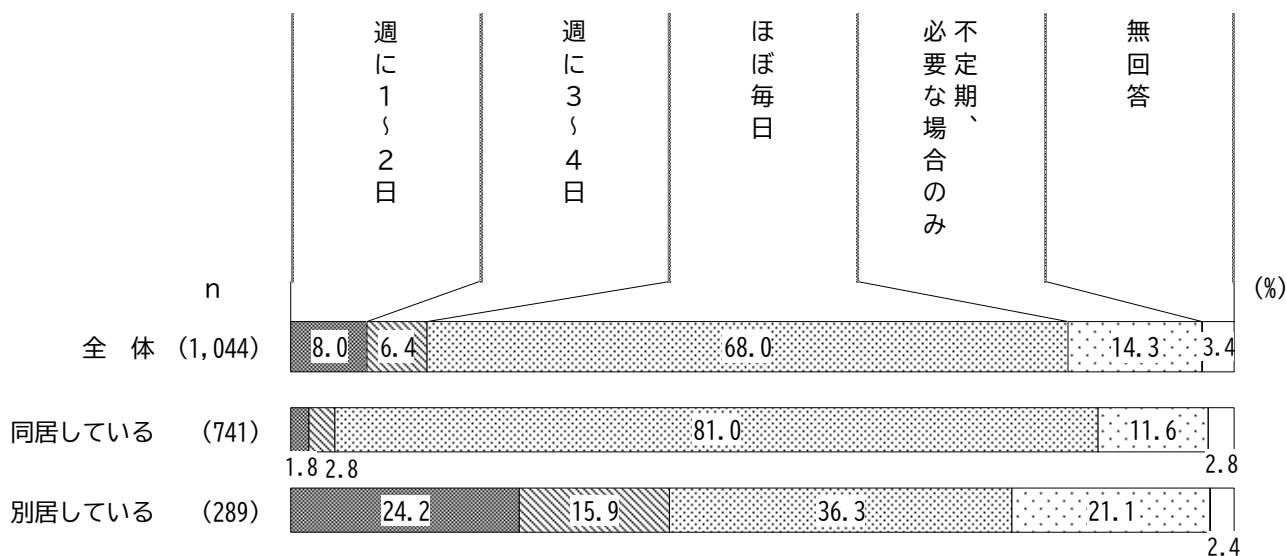
家族介護の状況（介護頻度）は、「ほぼ毎日」が68.0%で最も高く、次いで「不定期、必要な場合のみ」が14.3%、「週に1～2日」が8.0%となっている。

図表3-2-1 家族介護の状況（介護頻度）



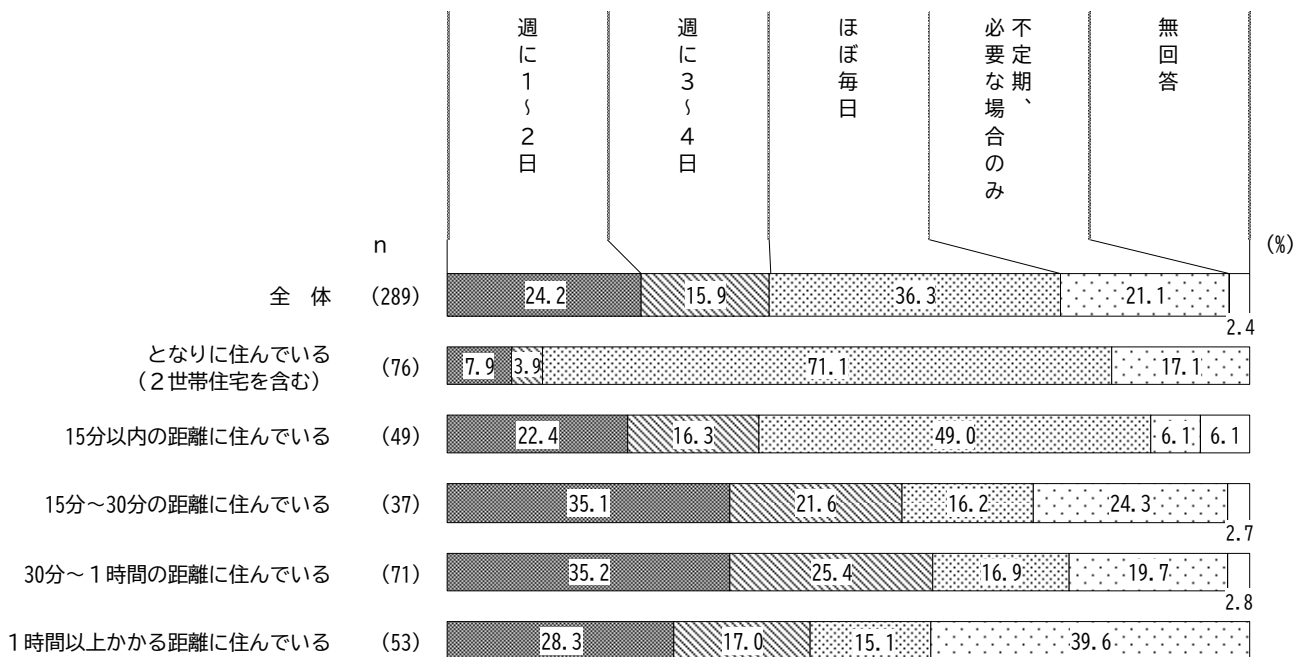
家族介護の状況（介護頻度）を同居状況別にみると、「ほぼ毎日」は「同居している」で81.0%となっている。

図表3-2-2 家族介護の状況（介護頻度）（同居状況別）



家族介護の状況（介護頻度）を被介護者との距離別にみると、「ほぼ毎日」は距離が近くなるほど高くなる傾向があり、「となりに住んでいる（2世帯住宅含む）」では71.1%となっている。

図表3-2-3 家族介護の状況（介護頻度）（被介護者との距離別）



家族介護の状況（介護頻度）を要介護度別にみると、「ほぼ毎日」は要介護度が上がるほど高くなり、「要介護5」では82.8%となっている。

図表3-2-4 家族介護の状況（介護頻度）（要介護度別）

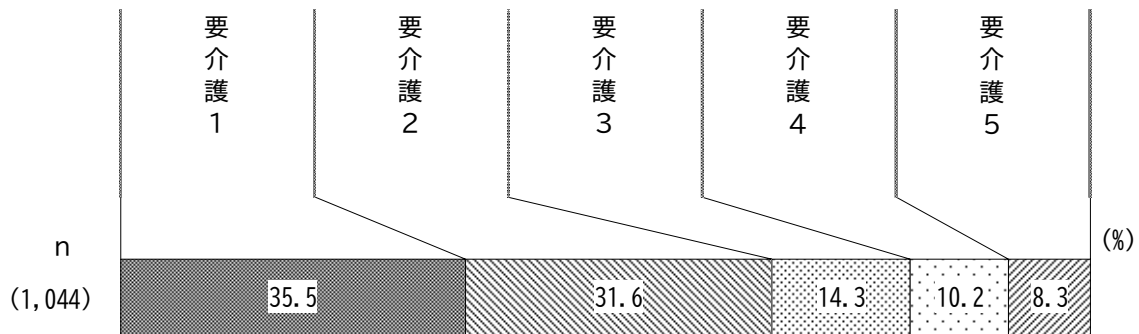
(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	週に1〜2日	週に3〜4日	ほぼ毎日	不定期、必要な場合のみ	無回答	
全体	1,044	83	67	710	149	35	
	100.0	8.0	6.4	68.0	14.3	3.4	
要介護度	要介護1	371	38	27	213	78	15
		100.0	10.2	7.3	57.4	21.0	4.0
	要介護2	330	27	22	228	43	10
		100.0	8.2	6.7	69.1	13.0	3.0
	要介護3	149	10	6	114	15	4
	100.0	6.7	4.0	76.5	10.1	2.7	
要介護4	107	5	6	83	9	4	
	100.0	4.7	5.6	77.6	8.4	3.7	
要介護5	87	3	6	72	4	2	
	100.0	3.4	6.9	82.8	4.6	2.3	

(2) 被介護者（要介護認定者本人）の要介護度

被介護者（要介護認定者本人）の要介護度は、「要介護1」が35.5%で最も高く、次いで「要介護2」が31.6%、「要介護3」が14.3%となっている。

図表3-2-5 被介護者（認定者本人）の要介護度

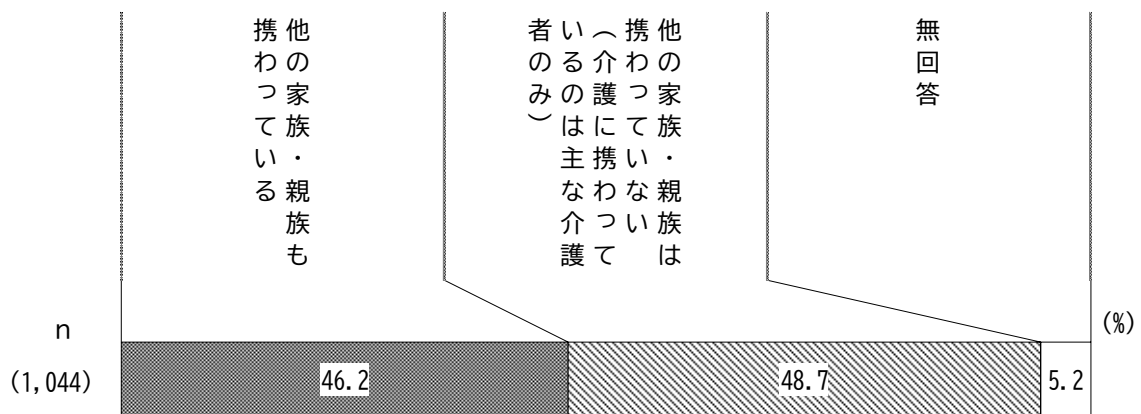


(3) 主な介護者以外の介護に携わっている方の有無

問7 封筒のあて名の方の介護には、主な介護者以外のご家族や親族は携わっていますか。
 (ヘルパーなどは含まないでお答えください) (○は1つ)

主な介護者以外の介護に携わっている方の有無は、「他の家族・親族は携わっていない（介護に携わっているのは主な介護者のみ）」が48.7%、「他の家族・親族も携わっている」が46.2%となっている。

図表3-2-6 主な介護者以外の家族や親族が介護に携わっているか



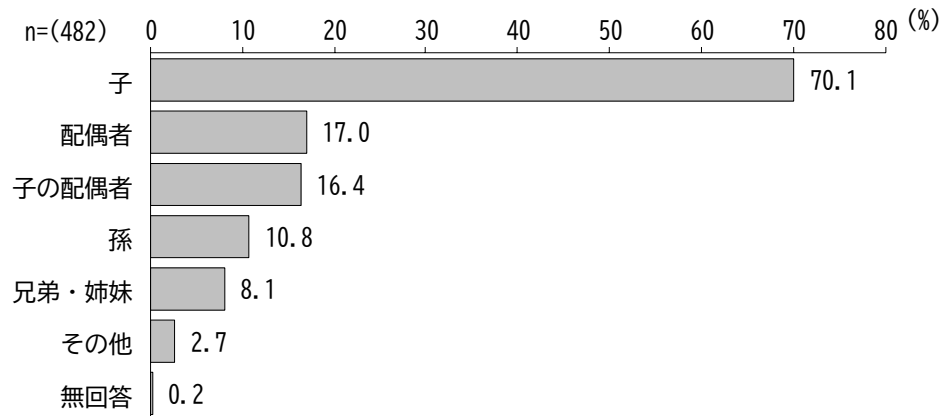
(4) 主な介護者以外に介護に携わっている方の属性

【問7で「1. 他の家族・親族も携わっている」と回答した方におたずねします。】

問7-1 主な介護者以外に、どなたが携わっていますか。(○はいくつでも)

主な介護者以外に介護に携わっている方の属性は、「子」が70.1%で最も高く、次いで「配偶者」が17.0%、「子の配偶者」が16.4%となっている。

図表3-2-7 主な介護者以外に介護に携わっている家族・親族（複数回答）



主な介護者以外に介護に携わっている家族・親族を主な介護者別にみると、介護に携わっている家族・親族が「子」では、主な介護者は「配偶者」が90.7%となっている。介護に携わっている家族・親族が「子の配偶者」や「孫」では、主な介護者は「子」が高くなっている。

図表3-2-8 主な介護者以外に介護に携わっている家族・親族（主な介護者別）

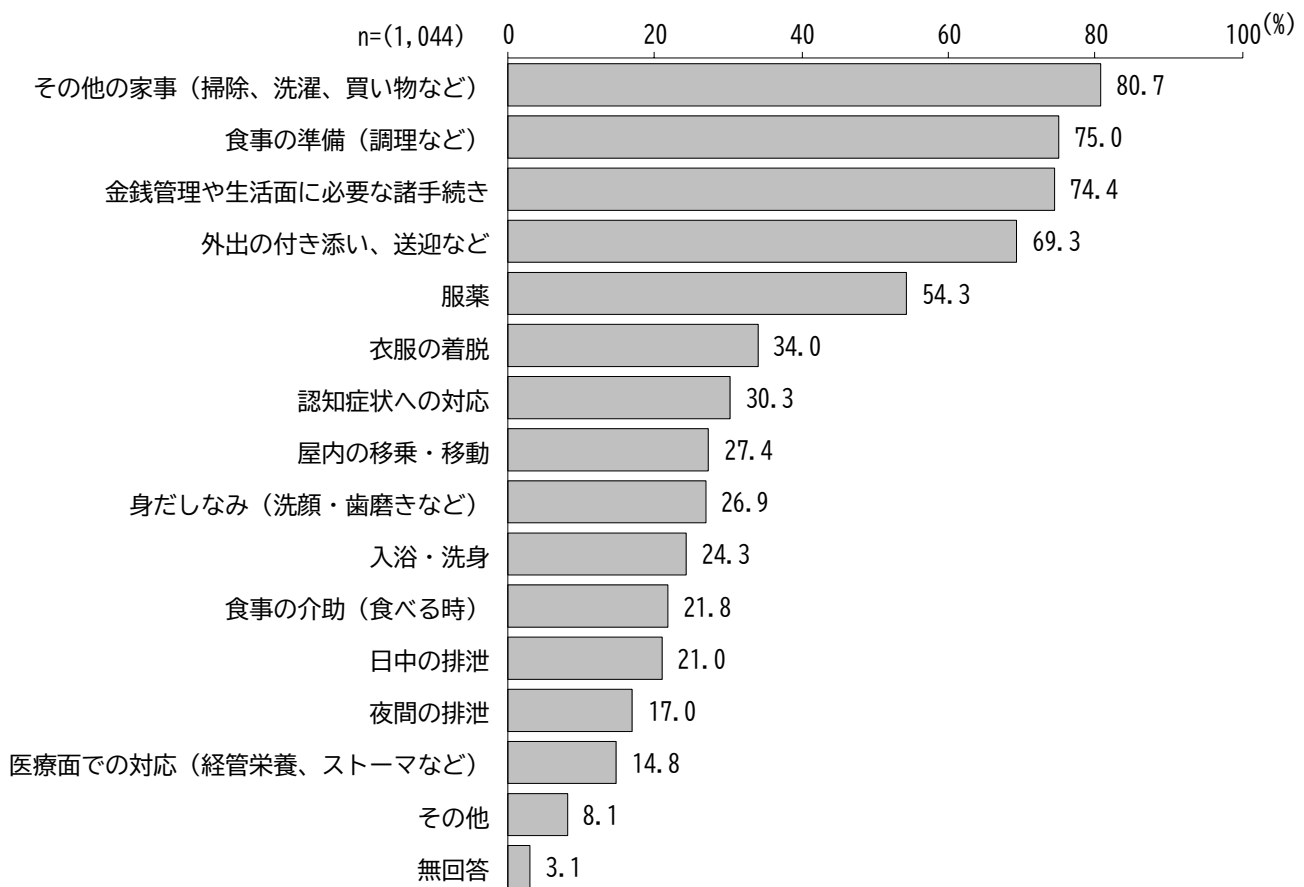
項目	調査数 (n)	(上段:回答数、下段:%)							
		子	配偶者	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答	
全体	482	338	82	79	52	39	13	1	
	100.0	70.1	17.0	16.4	10.8	8.1	2.7	0.2	
主な介護者	配偶者	151	137	32	14	9	2	-	1
		100.0	90.7	21.2	9.3	6.0	1.3	-	0.7
	子	274	165	45	60	40	30	4	-
		100.0	60.2	16.4	21.9	14.6	10.9	1.5	-
	子の配偶者	30	27	3	3	3	-	-	-
		100.0	90.0	10.0	10.0	10.0	-	-	-
	孫	2	2	-	1	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	
兄弟・姉妹	6.0	-	-	-	-	4.0	2.0	-	
	100.0	-	-	-	-	66.7	33.3	-	
その他	13	2	2	1	-	2	7	-	
	100.0	15.4	15.4	7.7	-	15.4	53.8	-	
無回答	6	5	-	-	-	1	-	-	
	100.0	83.3	-	-	-	16.7	-	-	

(5) 主な介護者が行っている介護内容

問8 現在、主な介護者の方が行っている介護などについて、お答えください。(〇はいくつでも)

主な介護者が行っている介護内容は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」が80.7%で最も高く、次いで「食事の準備（調理など）」が75.0%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が74.4%となっている。

図表3-2-9 主な介護者が行っている介護内容（複数回答）



主な介護者が行っている介護内容を主な介護者の性別で見ると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」（男性74.3%、女性84.7%）と「入浴・洗身」（男性16.3%、女性28.6%）で女性が男性を10ポイント以上上回っている。

年齢別にみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」は男性では50歳代が81.8%、女性では80歳以上が86.2%と最も高くなっている。

図表3-2-10 主な介護者が行っている介護内容（主な介護者の性別・年齢別）

（上段：回答数、下段：％）

項目	調査数（n）	濯、その	食事の	金銭	外出の	服薬	衣服の	認知	屋内の	
		他の家事 （掃除、洗 物など）	準備（調理など）	管理や生活 面に必要な 手続き	付き添い、 送迎など		の着脱	症状への 対応	移乗・ 移動	
全体	1,044	843	783	777	723	567	355	316	286	
	100.0	80.7	75.0	74.4	69.3	54.3	34.0	30.3	27.4	
性別・年齢別	男性全体	338	251	235	240	218	174	96	88	89
		100.0	74.3	69.5	71.0	64.5	51.5	28.4	26.0	26.3
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6	3	2	4	4	2	1	1	1
		100.0	50.0	33.3	66.7	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7
	男性 40歳代	5	4	3	3	2	3	-	1	2
		100.0	80.0	60.0	60.0	40.0	60.0	-	20.0	40.0
	男性 50歳代	66	54	43	48	44	34	15	17	11
		100.0	81.8	65.2	72.7	66.7	51.5	22.7	25.8	16.7
	男性 60歳代	88	63	59	64	61	48	25	25	29
		100.0	71.6	67.0	72.7	69.3	54.5	28.4	28.4	33.0
	男性 70歳代	76	54	58	54	46	43	27	15	25
		100.0	71.1	76.3	71.1	60.5	56.6	35.5	19.7	32.9
	男性 80歳以上	97	73	70	67	61	44	28	29	21
		100.0	75.3	72.2	69.1	62.9	45.4	28.9	29.9	21.6
	女性全体	681	577	536	523	495	389	254	224	195
		100.0	84.7	78.7	76.8	72.7	57.1	37.3	32.9	28.6
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18～29歳	1	-	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-	-	-	
女性 30歳代	4	3	2	1	3	2	2	1	-	
	100.0	75.0	50.0	25.0	75.0	50.0	50.0	25.0	-	
女性 40歳代	26	20	21	18	20	15	10	10	8	
	100.0	76.9	80.8	69.2	76.9	57.7	38.5	38.5	30.8	
女性 50歳代	161	137	117	131	131	99	47	55	45	
	100.0	85.1	72.7	81.4	81.4	61.5	29.2	34.2	28.0	
女性 60歳代	217	186	168	176	160	122	81	73	60	
	100.0	85.7	77.4	81.1	73.7	56.2	37.3	33.6	27.6	
女性 70歳代	127	106	112	99	91	71	56	38	40	
	100.0	83.5	88.2	78.0	71.7	55.9	44.1	29.9	31.5	
女性 80歳以上	145	125	115	98	89	80	58	47	42	
	100.0	86.2	79.3	67.6	61.4	55.2	40.0	32.4	29.0	
無回答	25	15	12	14	10	4	5	4	2	
	100.0	60.0	48.0	56.0	40.0	16.0	20.0	16.0	8.0	

第3章 在宅介護実態調査

図表3-2-10 主な介護者が行っている介護内容（主な介護者の性別・年齢別）【続き】

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	身だしなみ (洗顔・歯磨き など)	入浴・洗身	食事の介助 (食べる時)	日中の排泄	夜間の排泄	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマなど)	その他	無回答	
全体	1,044 100.0	281 26.9	254 24.3	228 21.8	219 21.0	178 17.0	154 14.8	85 8.1	32 3.1	
性別・年齢別	男性全体	338 100.0	71 21.0	55 16.3	83 24.6	60 17.8	48 14.2	40 11.8	22 6.5	16 4.7
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6 100.0	1 16.7	-	-	1 16.7	1 16.7	-	2 33.3	-
	男性 40歳代	5 100.0	-	-	-	-	-	1 20.0	-	1 20.0
	男性 50歳代	66 100.0	10 15.2	10 15.2	12 18.2	9 13.6	6 9.1	6 9.1	5 7.6	2 3.0
	男性 60歳代	88 100.0	25 28.4	16 18.2	23 26.1	17 19.3	12 13.6	8 9.1	1 1.1	4 4.5
	男性 70歳代	76 100.0	17 22.4	12 15.8	26 34.2	18 23.7	14 18.4	14 18.4	8 10.5	2 2.6
	男性 80歳以上	97 100.0	18 18.6	17 17.5	22 22.7	15 15.5	15 15.5	11 11.3	6 6.2	7 7.2
	女性全体	681 100.0	206 30.2	195 28.6	140 20.6	155 22.8	129 18.9	107 15.7	62 9.1	9 1.3
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-
	女性 30歳代	4 100.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-	-
	女性 40歳代	26 100.0	9 34.6	6 23.1	4 15.4	6 23.1	4 15.4	4 15.4	2 7.7	2 7.7
	女性 50歳代	161 100.0	35 21.7	39 24.2	22 13.7	27 16.8	28 17.4	21 13.0	17 10.6	1 0.6
	女性 60歳代	217 100.0	66 30.4	64 29.5	43 19.8	50 23.0	40 18.4	30 13.8	22 10.1	2 0.9
	女性 70歳代	127 100.0	48 37.8	45 35.4	36 28.3	35 27.6	25 19.7	22 17.3	11 8.7	1 0.8
	女性 80歳以上	145 100.0	46 31.7	39 26.9	34 23.4	37 25.5	31 21.4	30 20.7	10 6.9	3 2.1
	無回答	25 100.0	4 16.0	4 16.0	5 20.0	4 16.0	1 4.0	7 28.0	1 4.0	7 28.0

主な介護者が行っている介護内容を1週間の介護頻度別にみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」は「ほぼ毎日」で92.1%となっている。また、「不定期、必要な場合のみ」では「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が56.4%となっている。

図表3-2-11 主な介護者が行っている介護内容（1週間の介護頻度別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	洗濯、他の家事（掃除、 買い物など）	食事の準備 （調理など）	金銭管理や生活面に必 要な諸手続き	外出の付き添い、 送迎など	服薬	衣服の着脱	認知症状への対応	屋内の移乗・移動	
		全体	1,044 100.0	843 80.7	783 75.0	777 74.4	723 69.3	567 54.3	355 34.0	316 30.3
介護頻度	週に1~2日	83 100.0	48 57.8	36 43.4	54 65.1	51 61.4	19 22.9	5 6.0	16 19.3	12 14.5
	週に3~4日	67 100.0	51 76.1	40 59.7	49 73.1	49 73.1	25 37.3	12 17.9	23 34.3	12 17.9
	ほぼ毎日	710 100.0	654 92.1	636 89.6	578 81.4	529 74.5	488 68.7	327 46.1	254 35.8	244 34.4
	不定期、必要な場合のみ	149 100.0	75 50.3	58 38.9	84 56.4	83 55.7	29 19.5	9 6.0	18 12.1	14 9.4
	無回答	35 100.0	15 42.9	13 37.1	12 34.3	11 31.4	6 17.1	2 5.7	5 14.3	4 11.4

項目	調査数 (n)	身だしなみ（洗顔・歯 磨きなど）	入浴・洗身	食事の介助 （食べる時）	日中の排泄	夜間の排泄	栄養・医療面での対応（経管 ストーマなど）	その他	無回答	
		全体	1,044 100.0	281 26.9	254 24.3	228 21.8	219 21.0	178 17.0	154 14.8	85 8.1
介護頻度	週に1~2日	83 100.0	6 7.2	8 9.6	3 3.6	4 4.8	3 3.6	6 7.2	8 9.6	2 2.4
	週に3~4日	67 100.0	12 17.9	18 26.9	7 10.4	6 9.0	5 7.5	12 17.9	11 16.4	-
	ほぼ毎日	710 100.0	254 35.8	214 30.1	206 29.0	205 28.9	168 23.7	119 16.8	48 6.8	6 0.8
	不定期、必要な場合のみ	149 100.0	7 4.7	11 7.4	10 6.7	4 2.7	2 1.3	14 9.4	18 12.1	10 6.7
	無回答	35 100.0	2 5.7	3 8.6	2 5.7	-	-	3 8.6	-	14 40.0

第3章 在宅介護実態調査

主な介護者が行っている介護内容を被介護者の要介護度別にみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」はすべての要介護度で7割以上となっており、「要介護3」で88.6%と最も高くなっている。「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」は「要介護5」で88.5%と最も高くなっている。

図表3-2-12 主な介護者が行っている介護内容（要介護度別）

項目	調査数 (n)	(上段:回答数、下段:%)								
		その他 の家事 （掃除、 洗濯、 買い物 など）	食事の 準備 （調理 など）	金銭 管理 や生活 面に 必要 な諸 手続 き	外出 の付 き添 い、 送迎 など	服薬	衣服 の着 脱	認知 症状 への 対応	屋内 の移 乗・ 移動	
全体	1,044 100.0	843 80.7	783 75.0	777 74.4	723 69.3	567 54.3	355 34.0	316 30.3	286 27.4	
要介護度	要介護1	371 100.0	278 74.9	251 67.7	263 70.9	249 67.1	163 43.9	61 16.4	116 31.3	41 11.1
	要介護2	330 100.0	275 83.3	251 76.1	234 70.9	237 71.8	173 52.4	100 30.3	88 26.7	93 28.2
	要介護3	149 100.0	132 88.6	125 83.9	121 81.2	105 70.5	103 69.1	75 50.3	59 39.6	51 34.2
	要介護4	107 100.0	89 83.2	89 83.2	82 76.6	77 72.0	66 61.7	60 56.1	25 23.4	53 49.5
	要介護5	87 100.0	69 79.3	67 77.0	77 88.5	55 63.2	62 71.3	59 67.8	28 32.2	48 55.2

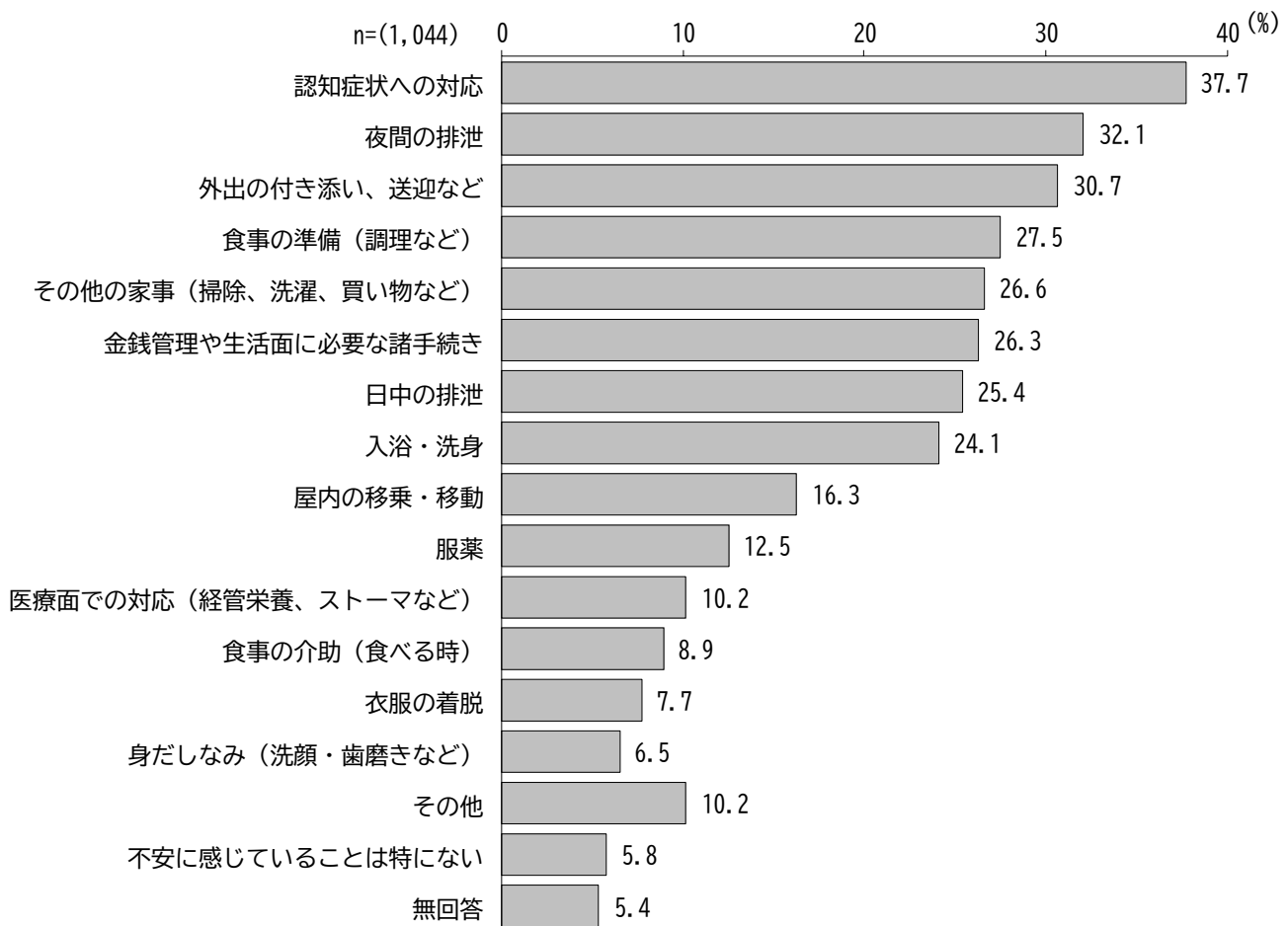
項目	調査数 (n)									
		身だし なみ （洗 顔・ 歯磨 きな ど）	入浴 ・洗 身	食事 の介 助 （食 べる 時 ）	日中 の排 泄	夜間 の排 泄	医療 面で の対 応 （経 管 栄養 ・ス ト ー マ	その他	無回 答	
全体	1,044 100.0	281 26.9	254 24.3	228 21.8	219 21.0	178 17.0	154 14.8	85 8.1	32 3.1	
要介護度	要介護1	371 100.0	44 11.9	59 15.9	35 9.4	11 3.0	12 3.2	53 14.3	30 8.1	17 4.6
	要介護2	330 100.0	70 21.2	85 25.8	60 18.2	51 15.5	37 11.2	41 12.4	23 7.0	9 2.7
	要介護3	149 100.0	66 44.3	52 34.9	44 29.5	52 34.9	39 26.2	21 14.1	13 8.7	3 2.0
	要介護4	107 100.0	44 41.1	30 28.0	35 32.7	50 46.7	39 36.4	9 8.4	8 7.5	1 0.9
	要介護5	87 100.0	57 65.5	28 32.2	54 62.1	55 63.2	51 58.6	30 34.5	11 12.6	2 2.3

(6) 現在の生活を継続するにあたって不安に感じる介護内容

問9 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護などについて、お答えください。(〇は3つまで)

現在の生活を継続するにあたって不安に感じる介護内容などは、「認知症状への対応」が37.7%で最も高く、次いで「夜間の排泄」が32.1%、「外出の付き添い、送迎など」が30.7%となっている。

図表3-2-13 現在の生活を継続するにあたって不安に感じる介護内容（複数回答）



現在の生活を継続するにあたって不安に感じる介護内容を主な介護者の性別で見ると、「認知症状への対応」は男性31.7%、女性41.1%で女性が男性より高くなっている。

年齢別にみると、「認知症状への対応」は男性では50歳代、60歳代、80歳以上で3割以上、女性では40歳代、50歳代、60歳代で4割以上と高くなっている。「外出の付き添い、送迎など」は男女ともに70歳代、80歳以上で3割以上と高くなっている。

図表3-2-14 現在の生活を継続するにあたって不安を感じる介護内容

(主な介護者の性別・年齢別)

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	認知症状への対応	夜間の排泄	外出の付き添い、 送迎など	食事の準備 (調理など)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物など)	諸金 銭管理 や生活 面に必 要な手 続き	日中の排泄	入浴・ 洗身	屋内の 移乗・ 移動	
全体	1,044 100.0	394 37.7	335 32.1	320 30.7	287 27.5	278 26.6	275 26.3	265 25.4	252 24.1	170 16.3	
性別・ 年齢別	男性全体	338 100.0	107 31.7	96 28.4	101 29.9	96 28.4	90 26.6	87 25.7	83 24.6	84 24.9	53 15.7
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	-	1 16.7	2 33.3	2 33.3	-	2 33.3
	男性 40歳代	5 100.0	-	-	-	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0
	男性 50歳代	66 100.0	20 30.3	16 24.2	18 27.3	11 16.7	14 21.2	14 21.2	18 27.3	18 27.3	6 9.1
	男性 60歳代	88 100.0	32 36.4	32 36.4	10 11.4	21 23.9	19 21.6	16 18.2	30 34.1	28 31.8	10 11.4
	男性 70歳代	76 100.0	18 23.7	19 25.0	27 35.5	21 27.6	19 25.0	21 27.6	18 23.7	13 17.1	19 25.0
	男性 80歳以上	97 100.0	36 37.1	26 26.8	44 45.4	43 44.3	36 37.1	33 34.0	14 14.4	23 23.7	14 14.4
	女性全体	681 100.0	280 41.1	231 33.9	212 31.1	184 27.0	178 26.1	180 26.4	177 26.0	161 23.6	111 16.3
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-
	女性 30歳代	4 100.0	1 25.0	1 25.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-
	女性 40歳代	26 100.0	12 46.2	5 19.2	6 23.1	5 19.2	5 19.2	5 19.2	6 23.1	4 15.4	5 19.2
	女性 50歳代	161 100.0	73 45.3	64 39.8	33 20.5	30 18.6	31 19.3	35 21.7	53 32.9	39 24.2	23 14.3
	女性 60歳代	217 100.0	99 45.6	79 36.4	58 26.7	54 24.9	49 22.6	51 23.5	61 28.1	49 22.6	33 15.2
	女性 70歳代	127 100.0	41 32.3	33 26.0	50 39.4	40 31.5	38 29.9	40 31.5	24 18.9	38 29.9	20 15.7
	女性 80歳以上	145 100.0	54 37.2	49 33.8	62 42.8	54 37.2	54 37.2	48 33.1	32 22.1	31 21.4	30 20.7
	無回答	25 100.0	7 28.0	8 32.0	7 28.0	7 28.0	10 40.0	8 32.0	5 20.0	7 28.0	6 24.0

図表3-2-14 現在の生活を継続するにあたって不安を感じる介護内容

(主な介護者の性別・年齢別)【続き】

項目	調査数 (n)	服薬	医療面での対応 (経管栄養、 ストーマなど)	食事の介助 (食べる時)	衣服の着脱	身だしなみ (洗顔・歯磨きなど)	その他	(上段:回答数、下段:%)		
								不安に感じていること は特	無回答	
全体	1,044 100.0	130 12.5	106 10.2	93 8.9	80 7.7	68 6.5	107 10.2	61 5.8	56 5.4	
性別・年齢別	男性全体	338 100.0	35 10.4	37 10.9	32 9.5	24 7.1	19 5.6	25 7.4	19 5.6	23 6.8
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6 100.0	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	-	-	-	1 16.7
	男性 40歳代	5 100.0	1 20.0	1 20.0	-	1 20.0	1 20.0	-	-	1 20.0
	男性 50歳代	66 100.0	4 6.1	6 9.1	3 4.5	2 3.0	2 3.0	3 4.5	7 10.6	5 7.6
	男性 60歳代	88 100.0	5 5.7	10 11.4	10 11.4	1 1.1	1 1.1	5 5.7	5 5.7	4 4.5
	男性 70歳代	76 100.0	5 6.6	6 7.9	8 10.5	7 9.2	2 2.6	5 6.6	5 6.6	3 3.9
	男性 80歳以上	97 100.0	19 19.6	14 14.4	10 10.3	12 12.4	13 13.4	12 12.4	2 2.1	9 9.3
	女性全体	681 100.0	90 13.2	65 9.5	59 8.7	54 7.9	47 6.9	79 11.6	39 5.7	31 4.6
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18～29歳	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	女性 30歳代	4 100.0	1 25.0	-	1 25.0	1 25.0	-	-	1 25.0	-
	女性 40歳代	26 100.0	2 7.7	1 3.8	2 7.7	1 3.8	1 3.8	2 7.7	2 7.7	1 3.8
	女性 50歳代	161 100.0	18 11.2	17 10.6	16 9.9	7 4.3	5 3.1	17 10.6	10 6.2	5 3.1
	女性 60歳代	217 100.0	23 10.6	18 8.3	16 7.4	9 4.1	14 6.5	29 13.4	10 4.6	4 1.8
	女性 70歳代	127 100.0	9 7.1	14 11.0	9 7.1	16 12.6	9 7.1	16 12.6	9 7.1	10 7.9
	女性 80歳以上	145 100.0	36 24.8	15 10.3	15 10.3	20 13.8	18 12.4	15 10.3	7 4.8	11 7.6
	無回答	25 100.0	5 20.0	4 16.0	2 8.0	2 8.0	2 8.0	3 12.0	3 12.0	2 8.0

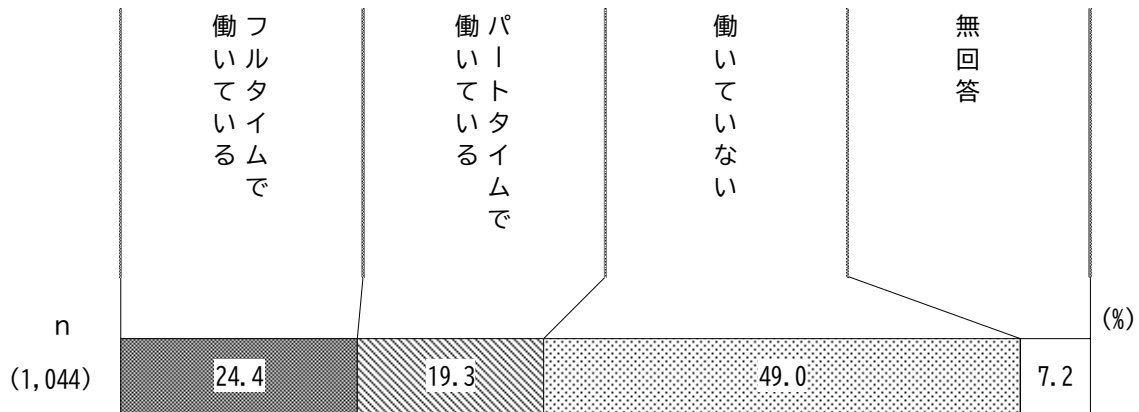
3. 主な介護者等の就労について

(1) 主な介護者の現在の勤務形態

問10 主な介護者の方の現在の勤務形態について、お答えください。(○は1つ)

主な介護者の現在の勤務形態は、「働いていない」が49.0%で最も高く、次いで「フルタイムで働いている」が24.4%、「パートタイムで働いている」が19.3%となっている。

図表3-3-1 主な介護者の現在の勤務形態



主な介護者の現在の勤務形態を主な介護者の性別で見ると、大きな差は見られない。

年齢別にみると、「フルタイムで働いている」は男女ともに50歳代（男性：50.0%、女性41.6%）が最も高くなっている。「働いていない」は男女ともに70歳代、80歳以上で6割以上となっている。

図表3-3-2 主な介護者の現在の勤務形態（主な介護者の性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目		調査数 (n)	フル タイム で 働 い て い る	パ ー ト タ イ ム で 働 い て い る	働 い て い な い	無 回 答
全体		1,044	255	202	512	75
		100.0	24.4	19.3	49.0	7.2
性別・年齢別	男性全体	338	95	55	161	27
		100.0	28.1	16.3	47.6	8.0
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6	3	1	1	1
		100.0	50.0	16.7	16.7	16.7
	男性 40歳代	5	3	-	1	1
		100.0	60.0	-	20.0	20.0
	男性 50歳代	66	33	9	18	6
		100.0	50.0	13.6	27.3	9.1
	男性 60歳代	88	37	19	28	4
		100.0	42.0	21.6	31.8	4.5
	男性 70歳代	76	11	13	47	5
		100.0	14.5	17.1	61.8	6.6
	男性 80歳以上	97	8	13	66	10
		100.0	8.2	13.4	68.0	10.3
	女性全体	681	158	142	340	41
		100.0	23.2	20.9	49.9	6.0
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1	-	-	1	-
	100.0	-	-	100.0	-	
女性 30歳代	4	1	3	-	-	
	100.0	25.0	75.0	-	-	
女性 40歳代	26	10	9	6	1	
	100.0	38.5	34.6	23.1	3.8	
女性 50歳代	161	67	42	44	8	
	100.0	41.6	26.1	27.3	5.0	
女性 60歳代	217	58	65	81	13	
	100.0	26.7	30.0	37.3	6.0	
女性 70歳代	127	9	17	93	8	
	100.0	7.1	13.4	73.2	6.3	
女性 80歳以上	145	13	6	115	11	
	100.0	9.0	4.1	79.3	7.6	
無回答	25	2	5	11	7	
	100.0	8.0	20.0	44.0	28.0	

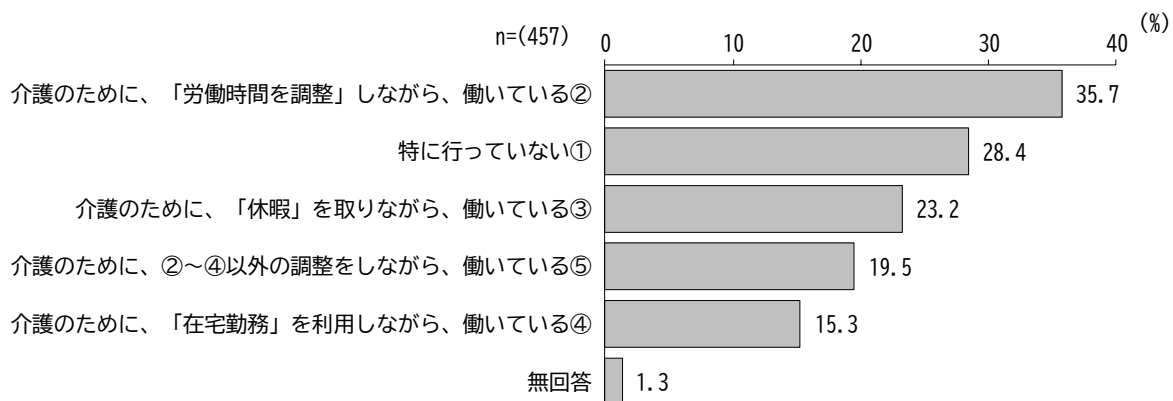
(2) 介護にあたっての働き方の調整等の実施状況

【問10で「1」「2」(働いている)と回答した方におたずねします。】

問10-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整などを行っていますか。(〇はいくつでも)

介護にあたっての働き方の調整等の実施状況は、具体的な選択肢の中では「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」が35.7%で最も高く、次いで「介護のために、「休暇」を取りながら、働いている」が23.2%、「介護のために、②～④以外の調整をしながら、働いている」が19.5%となっている。一方、「特に行っていない」は、28.4%となっている。

図表3-3-3 介護にあたっての働き方の調整等の実施状況(複数回答)



介護にあたっての働き方の調整等の実施状況を1週間の介護頻度別にみると、「介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている」は「ほぼ毎日」で41.8%と最も高くなっている。

図表3-3-4 介護にあたっての働き方の調整等の実施状況(1週間の介護頻度別)

項目		(上段:回答数、下段:%)						
		調査数(n)	調整のしたために、「労働時間を調整」しながら、働いている②	特に行っていない①	介護のために、「労働時間を調整」しながら、働いている③	調整のしたために、「②～④以外の調整をしながら、働いている」⑤	利用しながら、働いている④	無回答
全体		457	163	130	106	89	70	6
		100.0	35.7	28.4	23.2	19.5	15.3	1.3
介護頻度	週に1～2日	42	9	15	12	11	2	-
		100.0	21.4	35.7	28.6	26.2	4.8	-
	週に3～4日	36	14	9	11	9	5	-
		100.0	38.9	25.0	30.6	25.0	13.9	-
	ほぼ毎日	299	125	67	73	55	47	5
	100.0	41.8	22.4	24.4	18.4	15.7	1.7	
不定期、必要な場合のみ	72	11	37	8	12	15	1	
	100.0	15.3	51.4	11.1	16.7	20.8	1.4	
無回答	8	4	2	2	2	1	-	
	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	12.5	-	

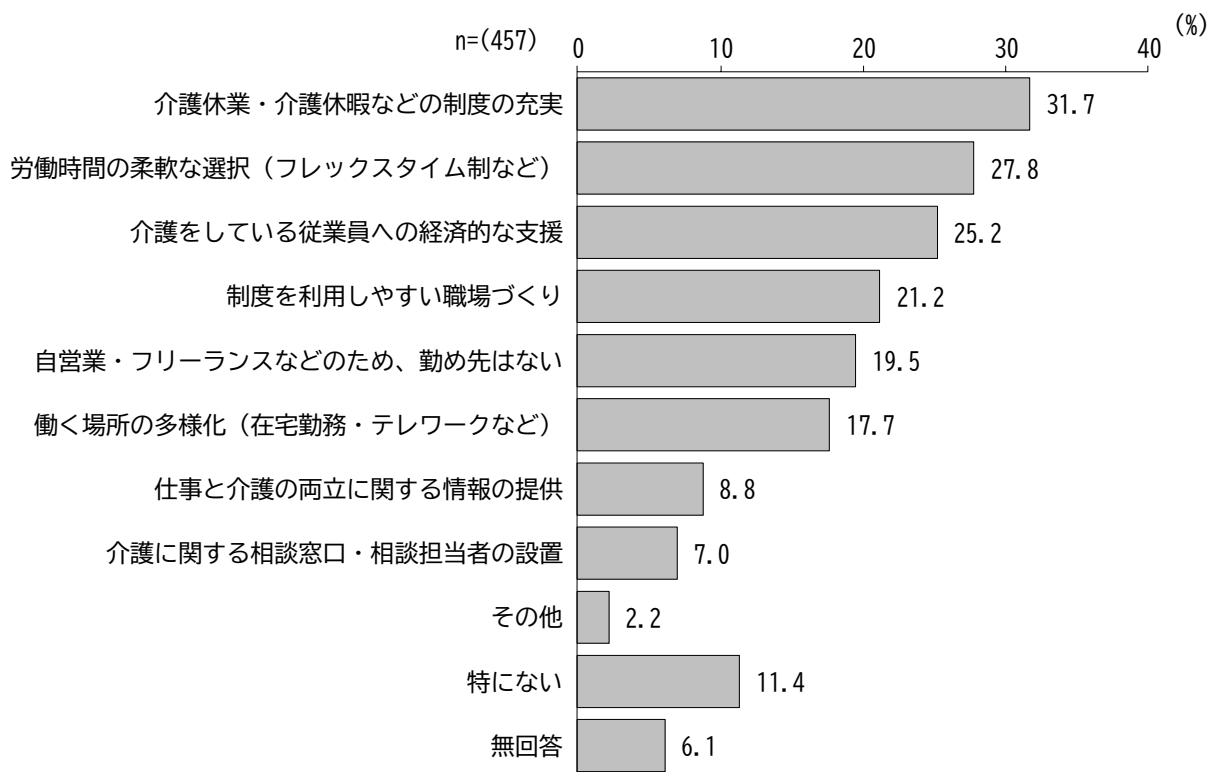
(3) 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援内容

【問10で「1」「2」（働いている）と回答した方におたずねします。】

問10-2 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。（○は3つまで）

仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援内容は、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が31.7%で最も高く、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が27.8%、「介護をしている従業員への経済的な支援」が25.2%となっている。

図表3-3-5 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援内容（複数回答）



第3章 在宅介護実態調査

仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援内容を1週間の介護頻度別にみると、「介護休業・介護休暇などの制度の充実」は「週1～2日」で40.5%と最も高くなっている。また、「週3～4日」では「介護をしている従業員への経済的な支援」が30.6%、「ほぼ毎日」では「介護休業・介護休暇などの制度の充実」が32.1%と高くなっている。

図表3-3-6 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援内容（1週間の介護頻度別）

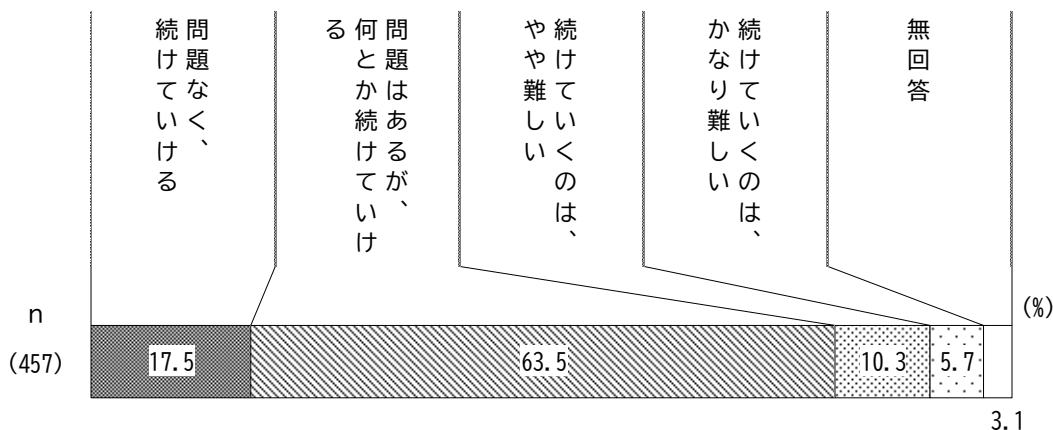
項目	調査数（n）	（上段：回答数、下段：％）											
		介護休業・介護休暇などの制度の充実	労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）	介護をしている従業員への経済的な支援	制度を利用しやすい職場づくり	自営業・フリーランスなどのため、勤め先はない	働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）	仕事と介護の両立に関する情報の提供	介護に関する相談窓口・相談担当者	その他	特になし	無回答	
全体	457	145 31.7	127 27.8	115 25.2	97 21.2	89 19.5	81 17.7	40 8.8	32 7.0	10 2.2	52 11.4	28 6.1	
介護頻度	週に1～2日	42 100.0	17 40.5	13 31.0	13 31.0	11 26.2	8 19.0	3 7.1	2 4.8	-	-	5 11.9	1 2.4
	週に3～4日	36 100.0	9 25.0	7 19.4	11 30.6	3 8.3	8 22.2	5 13.9	6 16.7	4 11.1	3 8.3	2 5.6	3 8.3
	ほぼ毎日	299 100.0	96 32.1	91 30.4	76 25.4	66 22.1	58 19.4	57 19.1	27 9.0	21 7.0	6 2.0	28 9.4	19 6.4
	不定期、必要な場合のみ	72 100.0	21 29.2	15 20.8	14 19.4	16 22.2	13 18.1	15 20.8	4 5.6	5 6.9	1 1.4	16 22.2	3 4.2
	無回答	8 100.0	2 25.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	2 25.0	-	1 12.5	2 25.0

（4）今後の仕事と介護の両立可能性

【問10で「1」「2」（働いている）と回答した方におたずねします。】
 問10-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
 （○は1つ）

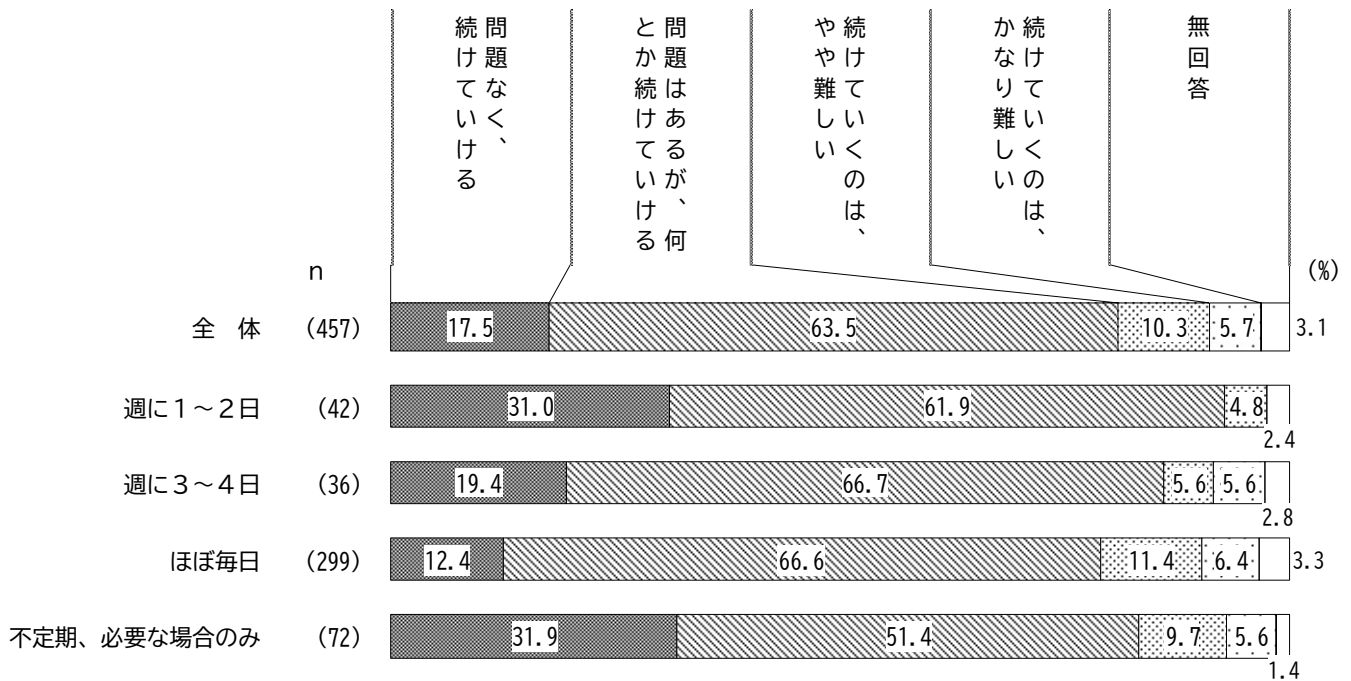
主な介護者の今後の仕事と介護の両立可能性は、「問題はあるが、何とか続けていける」が63.5%で最も高く、次いで「問題なく、続けていける」が17.5%、「続けていくのは、やや難しい」が10.3%となっている。

図表3-3-7 主な介護者の今後の仕事と介護の両立可能性



主な介護者の今後の仕事と介護の両立可能性を1週間の介護頻度別にみると、「問題はあるが、何とか続けていける」はすべての介護頻度で5割以上となっており、「週3～4日」では66.7%となっている。

図表3-3-8 主な介護者の今後の仕事と介護の両立可能性（1週間の介護頻度別）



主な介護者の今後の仕事と介護の両立可能性を主な介護者の勤務形態別でみると、「問題はあるが、何とか続けていける」はどちらの勤務形態でも6割以上となっている。

図表3-3-9 主な介護者の今後の仕事と介護の両立可能性（主な介護者の勤務形態別）

(上段:回答数、下段:%)

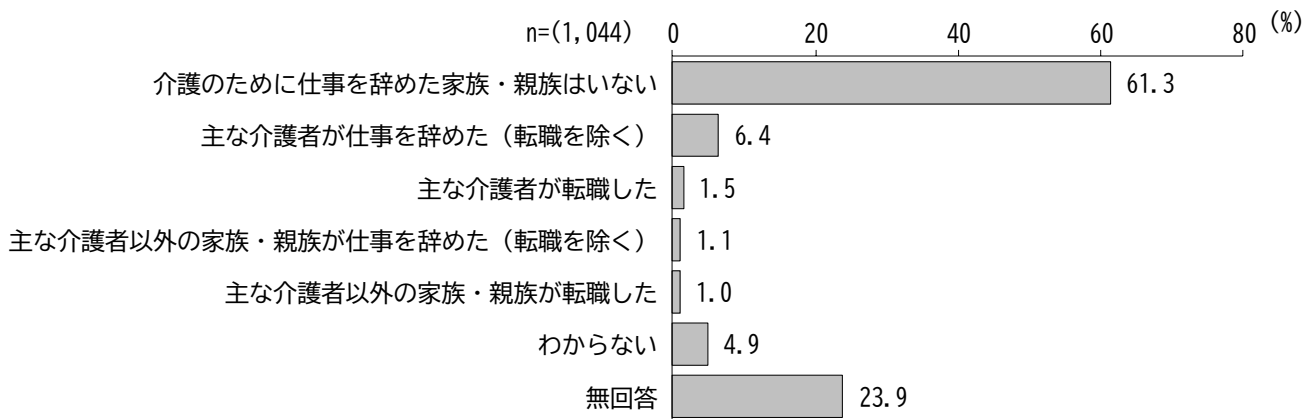
項目	調査数 (n)	問題なく、 続けていける	問題はあるが、 何とか 続けていける	やや難しいのは、 続けていくのは、	かなり難しいのは、	無回答	
全体	457	80	290	47	26	14	
	100.0	17.5	63.5	10.3	5.7	3.1	
勤務形態	フルタイムで働いている	255	48	162	26	13	6
	100.0	18.8	63.5	10.2	5.1	2.4	
パートタイムで働いている	202	32	128	21	13	8	
	100.0	15.8	63.4	10.4	6.4	4.0	

(5) 介護が理由で過去1年間に仕事を辞めた家族・親族の状況

問11 ご家族や親族の中で、封筒のあて名の方の介護を主な理由として、過去1年間に仕事を辞めた方はいますか。(〇はいくつでも)

介護が理由で過去1年間に仕事を辞めた家族・親族の状況は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が61.3%で最も高く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職を除く）」が6.4%、「主な介護者が転職した」が1.5%となっている。

図表3-3-10 介護が理由で過去1年間に仕事を辞めた家族・親族の状況（複数回答）



介護が理由で過去1年間に仕事を辞めた家族・親族の状況を被介護者の要介護度別にみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は「要介護4」で70.1%と最も高く、「要介護3」で56.4%と最も低くなっている。

図表3-3-11 介護が理由で過去1年間に仕事を辞めた家族・親族の状況（要介護度別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	い	め	め	主	た	族	主	族	主	わ	無
		めた	介	主	な	族	主	族	主	か	回	
		た	護	な	介	(主	介	介	ら	答	
		家	の	(護	転	な	護	護	な		
		族	た	職	者	を	親	者	者	い		
		・	め	除	が	除	族	が	が			
		親	に	く	仕	く	が	以	以			
		族	仕	を	事	を	外	外	の			
		は	事	な	を	辞	の	家	家			
		い	を	な	を	め	家	の	家			
		な	辞	な	辞		め	の	家			
		な	な	な	な			の	家			
全体	1,044	640	67	16	11	10	51	250				
	100.0	61.3	6.4	1.5	1.1	1.0	4.9	23.9				
要介護度	要介護1	371	15	6	3	4	22	93				
		100.0	4.0	1.6	0.8	1.1	5.9	25.1				
	要介護2	330	23	7	4	3	17	83				
		100.0	7.0	2.1	1.2	0.9	5.2	25.2				
	要介護3	149	12	2	1	2	6	42				
	100.0	8.1	1.3	0.7	1.3	4.0	28.2					
要介護4	107	8	-	2	-	3	19					
	100.0	7.5	-	1.9	-	2.8	17.8					
要介護5	87	9	1	1	1	3	13					
	100.0	10.3	1.1	1.1	1.1	3.4	14.9					

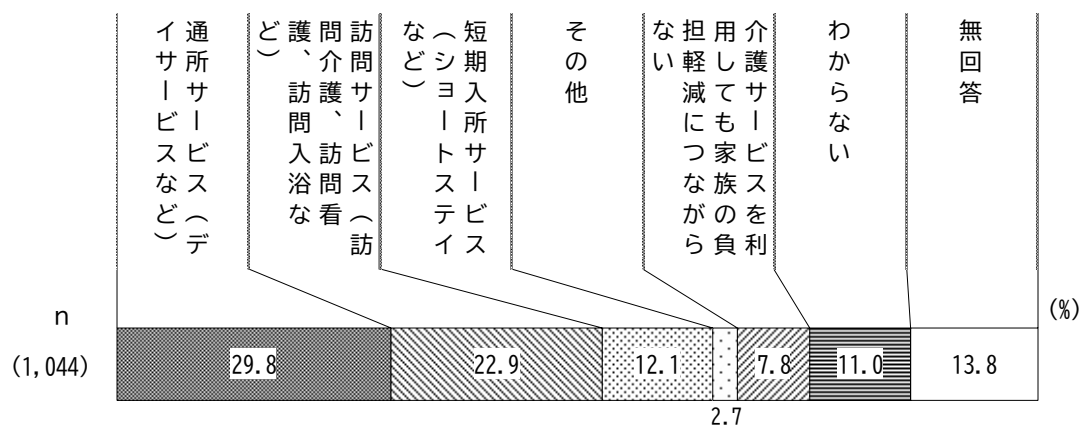
4. 主な介護者の困りごと、介護者への支援などについて

(1) 介護者負担の軽減に最もつながっているサービス

問12 介護サービスのうち、介護する方の負担の軽減に最もつながっていると思うものはどれですか。(〇は1つ)

介護者負担の軽減に最もつながっているサービスは、「通所サービス（デイサービスなど）」が29.8%で最も高く、次いで「訪問サービス（訪問介護、訪問看護、訪問入浴など）」が22.9%、「短期入所サービス（ショートステイなど）」が12.1%となっている。

図表3-4-1 介護者負担の軽減に最もつながっているサービス



主な介護者の勤務形態別でみると、「通所サービス（デイサービスなど）」は「フルタイムで働いている」で38.4%、「パートタイムで働いている」で33.2%となっている。

図表3-4-2 介護者負担の軽減に最もつながっているサービス（主な介護者の勤務形態別）

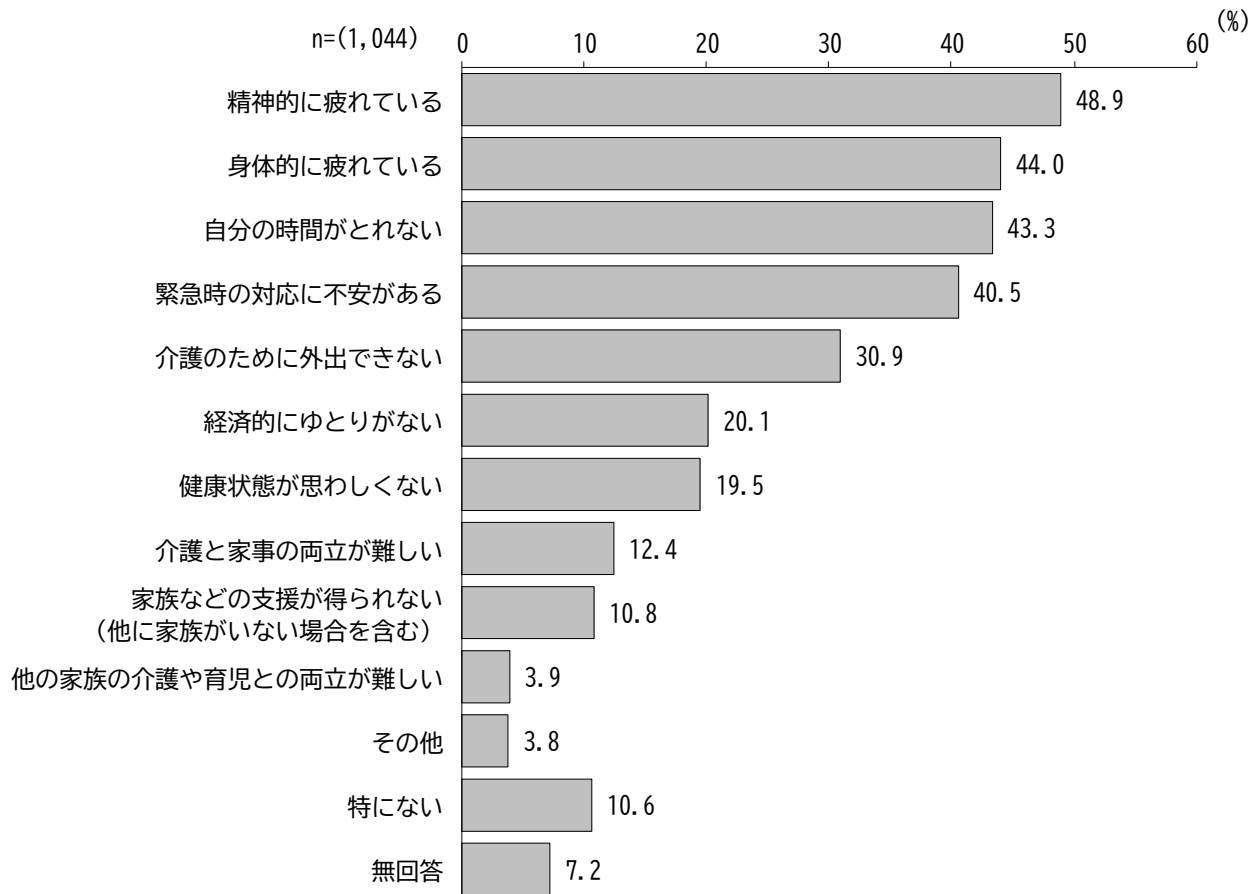
項目	調査数 (n)	(上段:回答数、下段:%)							
		(通所サービスなど)	(訪問サービス、訪問看護、訪問入浴など)	(短期入所サービスなど)	その他	介護サービスを利用しながら負担を軽減につなげる	わからない	無回答	
全体	1,044	311 29.8	239 22.9	126 12.1	28 2.7	81 7.8	115 11.0	144 13.8	
勤務形態	フルタイムで働いている	255 100.0	98 38.4	64 25.1	29 11.4	6 2.4	19 7.5	22 8.6	17 6.7
	パートタイムで働いている	202 100.0	67 33.2	44 21.8	38 18.8	4 2.0	15 7.4	15 7.4	19 9.4
	働いていない	512 100.0	129 25.2	118 23.0	58 11.3	17 3.3	45 8.8	66 12.9	79 15.4

(2) 介護と仕事の両立以外で困っていること

問13 主な介護者の方は、介護と仕事との両立以外にどのようなことにお困りですか。(〇はいくつでも)

主な介護者が介護と仕事の両立以外で困っていることは、「精神的に疲れている」が48.9%で最も高く、次いで「身体的に疲れている」が44.0%、「自分の時間がとれない」が43.3%となっている。

図表3-4-3 介護と仕事の両立以外で困っていること（複数回答）



介護と仕事の両立以外で困っていることを主な介護者の性別で見ると、「自分の時間がとれない」(男性37.0%、女性47.0%)で女性が男性を10ポイント上回っている。

年齢別にみると、「精神的に疲れている」は男性では80歳以上が46.4%、女性では50歳代が56.5%で最も高くなっている。

図表3-4-4 介護と仕事の両立以外で困っていること（主な介護者の性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	精神的に 疲れている	身体的に 疲れている	自分の 時間がとれない	緊急時の 対応に不安がある	介護のため に外出できない	経済的に ゆとりがない	健康状態 が思わしくない	
全体	1,044	511	459	452	423	323	210	204	
	100.0	48.9	44.0	43.3	40.5	30.9	20.1	19.5	
性別・年齢別	男性全体	338	148	132	125	122	98	72	62
		100.0	43.8	39.1	37.0	36.1	29.0	21.3	18.3
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6	3	3	4	3	2	2	2
		100.0	50.0	50.0	66.7	50.0	33.3	33.3	33.3
	男性 40歳代	5	3	2	1	2	1	2	1
		100.0	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	40.0	20.0
	男性 50歳代	66	26	23	28	24	25	19	5
		100.0	39.4	34.8	42.4	36.4	37.9	28.8	7.6
	男性 60歳代	88	39	34	37	37	32	21	9
		100.0	44.3	38.6	42.0	42.0	36.4	23.9	10.2
	男性 70歳代	76	32	34	25	30	20	16	18
		100.0	42.1	44.7	32.9	39.5	26.3	21.1	23.7
	男性 80歳以上	97	45	36	30	26	18	12	27
		100.0	46.4	37.1	30.9	26.8	18.6	12.4	27.8
	女性全体	681	356	321	320	292	219	133	141
		100.0	52.3	47.1	47.0	42.9	32.2	19.5	20.7
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1	-	-	1	-	1	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	-	
女性 30歳代	4	2	2	2	2	-	1	-	
	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	25.0	-	
女性 40歳代	26	13	8	11	13	4	10	5	
	100.0	50.0	30.8	42.3	50.0	15.4	38.5	19.2	
女性 50歳代	161	91	85	91	74	55	42	28	
	100.0	56.5	52.8	56.5	46.0	34.2	26.1	17.4	
女性 60歳代	217	122	97	102	101	74	41	38	
	100.0	56.2	44.7	47.0	46.5	34.1	18.9	17.5	
女性 70歳代	127	58	47	56	51	42	17	25	
	100.0	45.7	37.0	44.1	40.2	33.1	13.4	19.7	
女性 80歳以上	145	70	82	57	51	43	22	45	
	100.0	48.3	56.6	39.3	35.2	29.7	15.2	31.0	
無回答	25	7	6	7	9	6	5	1	
	100.0	28.0	24.0	28.0	36.0	24.0	20.0	4.0	

図表3-4-4 介護と仕事の両立以外で困っていること（主な介護者の性別・年齢別）【続き】

(上段:回答数、下段:%)

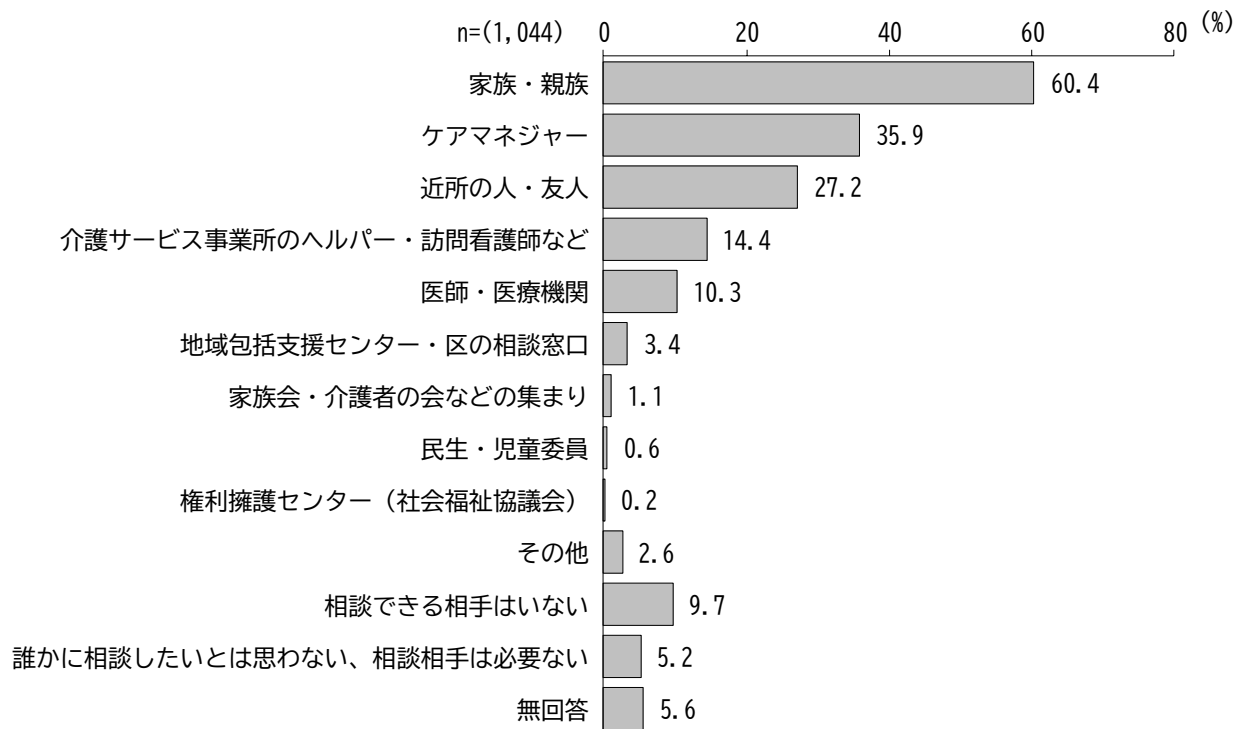
項目	調査数 (n)	介護と家事の 両立が難しい	家族などの支援が 得られない場合 を含む(他に家族が いない場合)	他の家族の介護や 育児との両立が難しい	その他	特 に ない	無 回 答	
全体	1,044	129	113	41	40	111	75	
	100.0	12.4	10.8	3.9	3.8	10.6	7.2	
性別・年齢別	男性全体	338	39	27	4	10	39	33
		100.0	11.5	8.0	1.2	3.0	11.5	9.8
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6	2	2	-	-	-	1
		100.0	33.3	33.3	-	-	-	16.7
	男性 40歳代	5	-	1	1	-	1	-
		100.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-
	男性 50歳代	66	5	6	-	-	6	5
		100.0	7.6	9.1	-	-	9.1	7.6
	男性 60歳代	88	16	5	3	3	14	4
		100.0	18.2	5.7	3.4	3.4	15.9	4.5
	男性 70歳代	76	6	6	-	3	7	7
		100.0	7.9	7.9	-	3.9	9.2	9.2
	男性 80歳以上	97	10	7	-	4	11	16
		100.0	10.3	7.2	-	4.1	11.3	16.5
	女性全体	681	88	83	33	30	71	34
		100.0	12.9	12.2	4.8	4.4	10.4	5.0
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1	1	-	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-	-	
女性 30歳代	4	1	-	1	-	1	-	
	100.0	25.0	-	25.0	-	25.0	-	
女性 40歳代	26	3	5	4	1	2	1	
	100.0	11.5	19.2	15.4	3.8	7.7	3.8	
女性 50歳代	161	32	24	13	12	15	3	
	100.0	19.9	14.9	8.1	7.5	9.3	1.9	
女性 60歳代	217	20	32	11	13	22	6	
	100.0	9.2	14.7	5.1	6.0	10.1	2.8	
女性 70歳代	127	10	13	3	2	16	11	
	100.0	7.9	10.2	2.4	1.6	12.6	8.7	
女性 80歳以上	145	21	9	1	2	15	13	
	100.0	14.5	6.2	0.7	1.4	10.3	9.0	
無回答	25	2	3	4	-	1	8	
	100.0	8.0	12.0	16.0	-	4.0	32.0	

(3) 介護をされていてつらいとき、愚痴や相談する相手の状況

問14 主な介護者の方は、介護をされていてつらいとき、愚痴をこぼしたり相談する相手はいますか。(〇はいくつでも)

主な介護者が介護をされていてつらいとき、愚痴や相談する相手の状況は、「家族・親族」が60.4%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が35.9%、「近所の人・友人」が27.2%となっている。

図表3-4-5 介護をされていてつらいとき、愚痴や相談する相手の状況（複数回答）



主な介護者が介護をされていてつらいとき、愚痴や相談する相手の状況を主な介護者の性別で見ると、「近所の人・友人」は男性13.0%、女性34.9%で女性が21.9ポイント上回っている。

年齢別にみると「ケアマネジャー」は男性の70歳代、80歳以上と女性の60歳代で4割以上となっている。

図表3-4-6 介護をされていてつらいとき、愚痴や相談する相手の状況

(主な介護者の性別・年齢別)

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	家族・親族	ケアマネジャー	近所の人・友人	介護サービス事業所のヘルパー・訪問看護師など	医師・医療機関	地域の包括支援センター・区の相談窓口	家族会・介護者の会などの集まり	
全体	1,044 100.0	631 60.4	375 35.9	284 27.2	150 14.4	108 10.3	36 3.4	11 1.1	
性別・年齢別	男性全体	338 100.0	185 54.7	125 37.0	44 13.0	55 16.3	38 11.2	19 5.6	2 0.6
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6 100.0	1 16.7	2 33.3	2 33.3	-	2 33.3	-	-
	男性 40歳代	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	1 20.0	-	-	-
	男性 50歳代	66 100.0	38 57.6	13 19.7	6 9.1	11 16.7	6 9.1	3 4.5	-
	男性 60歳代	88 100.0	58 65.9	35 39.8	14 15.9	9 10.2	8 9.1	5 5.7	1 1.1
	男性 70歳代	76 100.0	38 50.0	33 43.4	9 11.8	17 22.4	8 10.5	4 5.3	-
	男性 80歳以上	97 100.0	48 49.5	41 42.3	13 13.4	17 17.5	14 14.4	7 7.2	1 1.0
	女性全体	681 100.0	435 63.9	239 35.1	238 34.9	93 13.7	69 10.1	17 2.5	8 1.2
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	女性 30歳代	4 100.0	3 75.0	1 25.0	1 25.0	-	-	-	-
	女性 40歳代	26 100.0	13 50.0	5 19.2	6 23.1	2 7.7	4 15.4	-	-
	女性 50歳代	161 100.0	107 66.5	50 31.1	60 37.3	19 11.8	11 6.8	8 5.0	2 1.2
	女性 60歳代	217 100.0	151 69.6	101 46.5	93 42.9	37 17.1	27 12.4	4 1.8	2 0.9
	女性 70歳代	127 100.0	77 60.6	39 30.7	49 38.6	16 12.6	13 10.2	-	4 3.1
	女性 80歳以上	145 100.0	84 57.9	43 29.7	28 19.3	19 13.1	14 9.7	5 3.4	-
	無回答	25 100.0	11 44.0	11 44.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	-	1 4.0

図表3-4-6 介護をされていてつらいとき、愚痴や相談する相手の状況

(主な介護者の性別・年齢別)【続き】

(上段:回答数、下段:%)

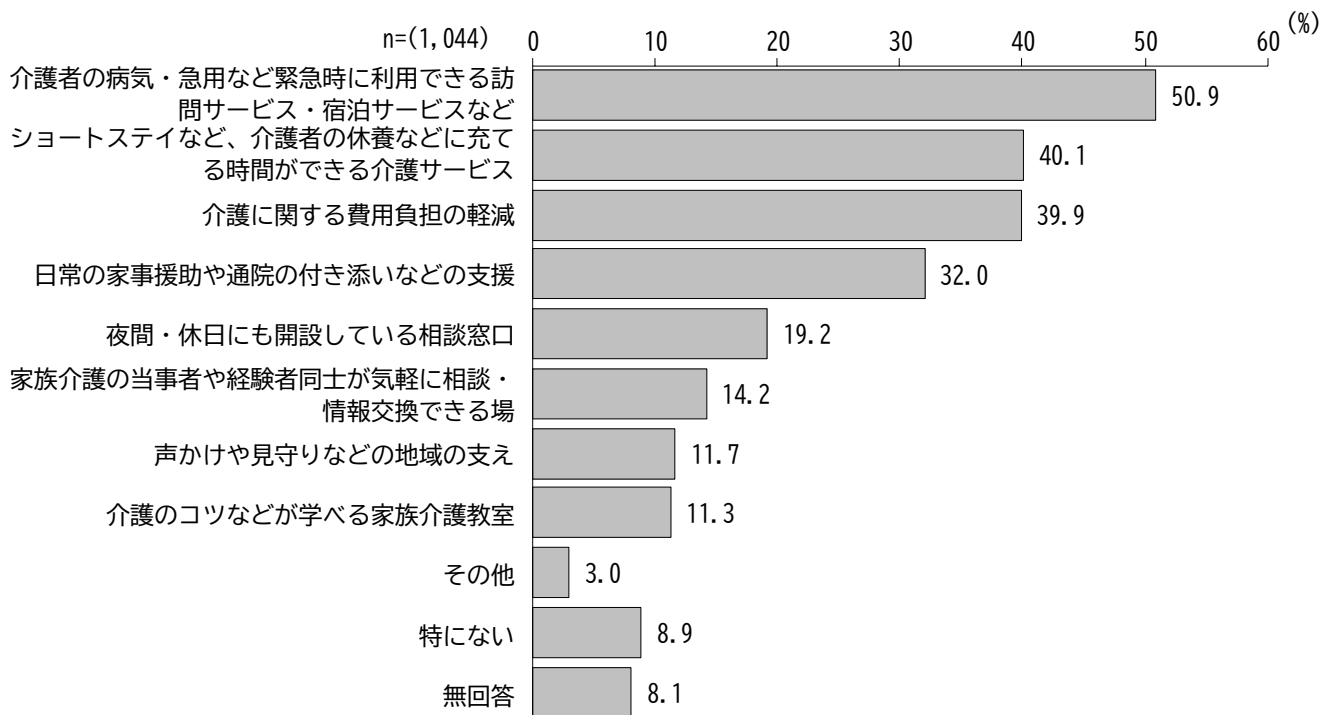
項目	調査数 (n)	民生・ 児童委員	権利擁護 センター (社会福 祉協議会)	その他	相談 できる 相手は いない	誰か に相談 したい とは思 わない	無 回答	
全体	1,044 100.0	6 0.6	2 0.2	27 2.6	101 9.7	54 5.2	58 5.6	
性別・ 年齢別	男性全体	338 100.0	3 0.9	1 0.3	6 1.8	39 11.5	16 4.7	25 7.4
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6 100.0	-	-	-	-	-	1 16.7
	男性 40歳代	5 100.0	-	-	-	1 20.0	-	-
	男性 50歳代	66 100.0	1 1.5	-	1 1.5	10 15.2	2 3.0	5 7.6
	男性 60歳代	88 100.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	9 10.2	3 3.4	3 3.4
	男性 70歳代	76 100.0	-	-	1 1.3	11 14.5	6 7.9	4 5.3
	男性 80歳以上	97 100.0	1 1.0	-	3 3.1	8 8.2	5 5.2	12 12.4
	女性全体	681 100.0	2 0.3	1 0.1	21 3.1	59 8.7	37 5.4	28 4.1
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	女性 30歳代	4 100.0	-	-	-	1 25.0	-	-
	女性 40歳代	26 100.0	-	-	2 7.7	5 19.2	1 3.8	1 3.8
	女性 50歳代	161 100.0	-	-	9 5.6	21 13.0	7 4.3	5 3.1
	女性 60歳代	217 100.0	-	1 0.5	6 2.8	8 3.7	6 2.8	3 1.4
	女性 70歳代	127 100.0	-	-	2 1.6	11 8.7	10 7.9	6 4.7
	女性 80歳以上	145 100.0	2 1.4	-	2 1.4	13 9.0	13 9.0	13 9.0
	無回答	25 100.0	1 4.0	-	-	3 12.0	1 4.0	5 20.0

(4) 安心して介護をするために必要な支援内容

問15 主な介護者の方は、安心して介護をするためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

主な介護者が安心して介護をするために必要な支援内容は、「介護者の病気・急用など緊急時に利用できる訪問サービス・宿泊サービスなど」が50.9%で最も高く、次いで「ショートステイなど、介護者の休養などに充てる時間ができる介護サービス」が40.1%、「介護に関する費用負担の軽減」が39.9%となっている。

図表3-4-7 安心して介護をするために必要な支援内容（複数回答）



主な介護者が安心して介護をするために必要な支援内容を主な介護者の性別でみると、「介護者の病気・急用など緊急時に利用できる訪問サービス・宿泊サービスなど」（男性39.1%、女性57.1%）、「ショートステイなど、介護者の休養などに充てる時間ができる介護サービス」（男性31.4%、女性44.8%）で女性が男性を10ポイント以上上回っている。

年齢別にみると、「介護者の病気・急用など緊急時に利用できる訪問サービス・宿泊サービスなど」は男性では70歳代が46.1%と最も高く、女性では40歳代、50歳代、60歳代が6割以上となっている。また、男性の50歳代と60歳代では「介護に関する費用負担の軽減」が最も高くなっている。

図表3-4-8 安心して介護をするために必要な支援内容

(主な介護者の性別・年齢別)

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	介護者の病気・急用など 利用できる訪問サービス・宿泊サービスなど	ショートステイなど、介護者の休養などに充てる時間ができる介護サービス	介護に関する費用負担の軽減	日常の家事援助や通院の付き添いなどの支援	夜間・休日にも開設している相談窓口	家族介護の当事者や経験者同士が気軽に相談・情報交換できる場	声かけや見守りなどの地域の支え	室介護のコツなどが学べる家族介護教室	その他	特 に な い	無 回 答	
全体	1,044 100.0	531 50.9	419 40.1	417 39.9	334 32.0	200 19.2	148 14.2	122 11.7	118 11.3	31 3.0	93 8.9	85 8.1	
性別・年齢別	男性全体	338 100.0	132 39.1	106 31.4	129 38.2	114 33.7	63 18.6	47 13.9	41 12.1	35 10.4	7 2.1	35 10.4	36 10.7
	男性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 18~29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男性 30歳代	6 100.0	1 16.7	2 33.3	4 66.7	4 66.7	2 33.3	-	2 33.3	-	-	-	1 16.7
	男性 40歳代	5 100.0	2 40.0	2 40.0	3 60.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	-	-	-	1 20.0
	男性 50歳代	66 100.0	23 34.8	15 22.7	29 43.9	24 36.4	17 25.8	13 19.7	9 13.6	8 12.1	2 3.0	4 6.1	6 9.1
	男性 60歳代	88 100.0	38 43.2	36 40.9	44 50.0	30 34.1	18 20.5	10 11.4	14 15.9	12 13.6	1 1.1	12 13.6	4 4.5
	男性 70歳代	76 100.0	35 46.1	23 30.3	26 34.2	22 28.9	11 14.5	10 13.2	8 10.5	8 10.5	1 1.3	8 10.5	7 9.2
	男性 80歳以上	97 100.0	33 34.0	28 28.9	23 23.7	32 33.0	15 15.5	13 13.4	7 7.2	7 7.2	3 3.1	11 11.3	17 17.5
	女性全体	681 100.0	389 57.1	305 44.8	281 41.3	215 31.6	133 19.5	96 14.1	77 11.3	83 12.2	22 3.2	54 7.9	43 6.3
	女性 18歳未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性 18~29歳	1 100.0	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	女性 30歳代	4 100.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	-	-	1 25.0	-	-	-	-
	女性 40歳代	26 100.0	16 61.5	15 57.7	10 38.5	10 38.5	9 34.6	4 15.4	4 15.4	7 26.9	2 7.7	1 3.8	1 3.8
	女性 50歳代	161 100.0	100 62.1	89 55.3	83 51.6	65 40.4	35 21.7	18 11.2	29 18.0	20 12.4	6 3.7	8 5.0	5 3.1
	女性 60歳代	217 100.0	132 60.8	97 44.7	96 44.2	75 34.6	49 22.6	30 13.8	26 12.0	28 12.9	10 4.6	16 7.4	5 2.3
	女性 70歳代	127 100.0	73 57.5	52 40.9	43 33.9	25 19.7	18 14.2	21 16.5	7 5.5	13 10.2	1 0.8	14 11.0	10 7.9
	女性 80歳以上	145 100.0	66 45.5	50 34.5	48 33.1	36 24.8	22 15.2	23 15.9	10 6.9	15 10.3	3 2.1	15 10.3	22 15.2
	無回答	25 100.0	10 40.0	8 32.0	7 28.0	5 20.0	4 16.0	5 20.0	4 16.0	-	2 8.0	4 16.0	6 24.0

5. 自由意見

問16 介護保険制度や高齢者保健福祉施策に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。

172名の方から寄せられた回答を、原文の文意が損なわれないように要約・抜粋して記載。

介護保険制度や高齢者保健福祉施策全般について

- こちらから聞かないとわからない（知らない）ことが多い。地域包括支援センターの存在を知らない人もいます。医療施設等に告知のポスター等を貼るなどしてみたらどうか（大きく、わかりやすく）。
- 窓口で介護の状況の話を聞いただけで理解できる方（エキスパート）が多く必要。
- 介護保険では何と何が受けられると言った詳しい内容を介護者に直接説明して頂きたい。
- サービスがあっても「利用したくない」と要介護者にごねられたらお手上げです。ある一定以上の認知症という診断がでたら、デイサービス等に行かなければいけない、とならないと、なかなかサービスがあっても利用できません。
- 区役所へ行き代行で手続きすることが多過ぎます。手続きが必要な際は返信用封筒と委任状を必ずつけてほしい。紙をプリントする環境がないので手続きが必要な際は配慮した運用をお願いします。
- 介護サービスについての相談を区役所でお願いできる部署が欲しいと思いました。地域包括支援センターでは話を聞いてもらえますが即した回答がもらえません。ケアマネジャーの担当人数を現在より減らし被介護者に即したサービスを迅速に行ってほしいです。
- タクシードライバーの中には「福祉タクシー利用券」の存在を良く理解していない方がいる。気兼ねなくタクシー券を使用できるよう、タクシー会社やドライバーの方への徹底を図っていただけたらと思います。
- 腰を痛めてしまい、買物や外出を代ってくれる人がいると良いなと思っています。必要な所に、手が届くサービスがあると良いなと思っています。
- 介護保険制度も介護保険料負担も年々悪くなってきている気がする（特に中流家庭において）。
- 何かあった時に遠方ですぐに対応出来ない為、365日、24時間対応可能な連絡出来る所（介護119番のような）を立ち上げてほしい。
- 認知症で問題行動ありだが相談しても解決出来ないの、専門の相談機関を立ち上げてほしい。
- 家族、親族のいない人に対する制度、施策が充実したものになってほしいです。
- 目黒区は大変制度が充実していると感じました。
- 今の介護方法では、それまでに接触のなかった他人（区のサポート、ケアマネ、介護サービス担当者・・・など）がどんどん環境（家の中、被介護者との関係の中）に入ってくる。被介護者、介護者ともに人間関係が苦手な者にとっては本音をどんどん心の奥にしまい込んでしまう。本当に必要な対処ができず、ストレスだけが溜まっていく。
- 日中や夜間、半日などまとまった時間、訪問していただける公的サービス、または自費サービスの費用負担を援助していただきたい。

- 通院などのタクシーの手配、アプリが使えない人も多いため代行サービス。
- 介護保険制度がなければとても在宅介護は出来ません。訪問看護師さん、ヘルパーさん、訪問入浴さんなど本当になくってはならない存在です。
- まだまだ高齢者が増えていくため 色々なサポーター制度（サポートするとポイントが付くなどニーズに合ったもの）がこれからは必要だと思います。子どもの制度も大事だが 貧富の差が激しい高齢者も住みやすい区をつくっていくべきだと思います。
- 紙おむつ支給の限度額を要介護度毎にもっと上げてください。
- 介護保険制度に柔軟性がない。支払う保険料の割に利用出来るサービスが少ない。

要介護認定について

- 介護保険の認定調査の訪問にみえる曜日や、時間帯をもう少し増やしてほしい。土・日や平日も遅い時間に面談できるとありがたい。
- 調査員の方の結果と医師の報告からだけで介護度は判断、決定されますが、同じ介護度でも、ひとり暮らしの方、親・子の一对一の介護、家族、親族の助けのある介護では、生活状況は違うのです。介護度優先でなく、生活状況を考慮できる制度があればと思います。
- 介護認定を1年毎に再認定していただきたい。4年に1回？は長すぎる。その間に状態が変化。
- 介護認定の迅速化（超高齢者は一日一日変化していくので）。
- 認知に問題がないと要介護度が低くなるような話を聞きます。要介護度の判定に際しては、それまでの生活を維持することができるようにするために必要なサービス量を決める、という視点も入れていただけるとありがたいです。

在宅サービスについて

- デイサービスの事業所にショートステイのサービスがあれば、本人も、介護人も利用しやすいのに私の周辺にはないので困っている。
- 本人の発熱等によって予約していたショートステイが利用できなくなってしまう事がとても不安です。少々の体調不良であれば有料（少々高額）であっても確実に預かってもらえる施設が必要です。なかなか希望の日程がとれないのも困っています。
- 3回ぐらい利用したショートステイには毎回がっかりしている。単に荷物を預かるような感じで、何の活動も配慮もない。多分、人手不足で手が回らないのだろうとあきらめている。
- 区内にすぐショートステイ対応できる施設がたくさんあると助かる。
- ショートステイの条件が厳しくて預かってもらえなかったりする。もっと気軽に食事を配食してもらえたり自宅の様子を見に来てくれるサービスがあると助かる。
- 同居だと家事をしてもらえないというのは介護者の負担を分かっていない。1人で介護をしている人に対する支援を増やしてほしい。
- デイサービスも色々見てまわりましたが、単に居させる、麻雀をさせるのではなく、健康や趣味など元気になる仕組みをもっと作っていただきたいと思います。
- 通所のような時間の過ごし方ができるショートステイを望みます。

- デイサービスや、ショートステイが充実してこそ、家庭で面倒がみる事が可能となります。増々の充実を望みます。

施設サービスについて

- 保険制度の充実は勿論ですが、公共施設である「特別養護老人ホーム」や「地域の支援病棟」の増床等の拡充を希望しております。
- 介護施設の拡充を望みます。
- 認知症の人が入れる施設が欲しい。家族も年をとり身体の具合も悪くなり、それでも世話をしなければならない。この不合理をどうにか解決してほしい。
- 将来、地域生活が難しくなった時に選択して入所できるニーズに合った老人施設が整ってほしい。
- 終日みていることは出来ないが、入りたくなるような施設がない。
- 特別養護老人ホームの申し込みをしてから6ヶ月～1年位で入居できるようにしてほしい。
- 特別養護老人ホームの申し込みを随時受け付けていただけるとありがたいです。
- 有料老人ホームが、高すぎる。

ケアマネジャーについて

- ケアマネジャーさんにより、知識やサービス提案に差があります。お忙しいでしょうが向上心を持って向き合っていただきたい。
- ケアマネさんの負担を軽減していただきたい。何でも屋さんではないと思います。

介護人材について

- 介護士の拡充。
- 虐待するスタッフがいなくなるように、雇用時によく見極めてください。嫌なニュースが続き、とても嫌になる。
- 一番身近な訪問看護師やヘルパーの不足が心配です。質・人数共に充実してほしい。
- 介護従事者の待遇を良くして働きやすい職場にしてください。

介護事業者について

- 小規模でギリギリのラインで営業している事業所に国の補助金を使うべきだと思います。
- 相談窓口や支援スタッフや担当スタッフに相談しても、頑張ってくださいと言われるだけで、相談した介護者は逆に孤立してしまいます。介護者に寄り添うというより、介護が必要な人が虐待などを受けないように見張られているような感じですか。相談したい事があっても躊躇してしまいます。

介護保険料について

○介護保険料高いです。

経済的負担について

- 今のままでは、老後の生活資金でなんとか生活している人が損を感じてしまう。アリとキリギリスが増えて、アリがしわ寄せをくう世の中になるのはダメだと思います。
- 介護が必要なため、介護者が仕事ができず、経済的に不安定な事に困っています。
- 社会保険料をはじめ税負担の軽減をしてほしい。
- 介護保険を利用しても金銭的な負担は大きい。
- 低所得者への保険料無料化。
- 現役世代の負担が重く、社会生活が成り立たなくなりつつあるため、高齢者の負担引き上げはやむなしと思う。
- 介護費用をオーバーしているという理由で、個人負担が大変です。年金生活者からの保険料徴収は止めてほしい。
- 利用料が安くなるような施策を考えていただけるとありがたいです。

将来への不安・悩みについて

- 介護も高齢者になると、大変さが増して来る。先が不安です。
- 今後亡くなる迄1人で介護が出来るか不安。入退院を繰り返しているのでお金の不安が有る。
- 介護能力の老化の危険は常に感じております（介護が充分出来なくなる不安）。
- いつまで在宅介護が続くのか先が見えないことに困っている。
- 老々介護（夫婦のみ世帯）なので配偶者が転倒事故や入院を要する発病した場合は夫婦共倒れになる。その対処方法は行政で如何すべきか？
- 今後介護者の負担が増え、在宅困難になった場合、すぐに入所出来る施設が高い所しかないので不安を感じます。
- 現在老健に入院中で、退院後の介護に不安がある。自宅介護の場合、特に夕方以降何かあった場合に、どうしたらよいかの不安で気持ちが落ち込む。

家族介護について

- 在宅介護はとても厳しく孤立しがちです。
- 平日に家族会があるため、仕事で参加できず心細いことがあります。諸手続や問い合わせも仕事を休まざるを得ません。ご配慮願います。
- 介護があるなら働くことなく（仕事を減らして）それに従事すれば良いと言う方もいると思いますが、している介護人は自分がなくなり、犠牲を強いられているというように感じます。社会参加が大切なのは「介護を受ける側」ではなく「介護をする側」だと思いますので、その支援を厚くしないと若い世代がいなくなると思います。
- 仕事しながら親の三食や通院、もろもろの手配は本当にしんどく、精神的に病んでしまいそ

うです。介護をする人の声をもっと聞いて、助けていただきたいです。

- 金銭的に色々な事をあきらめて介護をする家族がある事を忘れないでください。
- 介護をしている人を助けてほしい。子や女性がするのが当たり前の風潮をなんとかしてほしい。高齢男性の我儘を女性が受け止めなければいけない風潮も、なんとかしてほしい。
- 介護をしながらフルタイムで働くのはきついと思います。ケアマネとのやりとりも、いまだにメールやLINEではなく電話や自宅訪問というのも、フルタイムで働いていたら連絡を取るのが難しい人もいます。介護者が働いている人にはオンライン面談やLINEなど既読がつく機能があるものを上手に使っていただければ少し負担が軽くなるかもしれません。

その他

- 独居の高齢者が増えています。介護保険対応のヘルパーさんが広い意味で生活を支えていますが、自宅で1人でも生きて行ける安心感が欲しいと思います。
- 通院のために、優先的にタクシーを配車していただけるシステムがあると助かります。
- 介護人が薬局にいけない時に、薬を配送し代金引落とし等の事が出来ると非常に助かる。
- 植木の剪定について援助してほしい。
- 認知症の母へのアンケートは、それ自体介護者にとって負担です。
- 病院、駅、銀行への移動手段を増やしてほしい。
- 車イスで移動しやすい街作りや車イス用の駐車スペースの拡充をお願いします。
- 自分の子育て中に親にしてもらった手助けを、自分が孫を育てている子どもにしてやれないのが一番切ないです。
- 難病の手続きが大変です。もっといろんな手続きを簡単にしてほしいです。